令和８年度

事　業　計　画　書

社会福祉法人　山王平成会

目次

法　人　本　部 …… 1

ごしょの保育園 …… 4

かわしり保育園 …… 13

阿久和保育園 …… 21

西 柴 保 育 園 …… 31

上永谷西保育園 …… 39

阿久和キッズ …… 47

令和８年３月 25 日

令和８年度

法人本部 事業計画書

この一年、皆様が法人理念・保育理念を大切にしながら、子どもたちのために誠実に向き合ってくださったおかげで大きな事故や怪我もなく保育運営を続けることができました。日々の小さな気づきや丁寧な報連相、そして主体的な行動の積み重ねが、園の安心と信頼を支えてくれています。

皆様の姿勢に心から感謝するとともに、同じ仲間として働けることをとても誇りに思っています。今年度も、子どもたちと共に、私たち自身も楽しく明るい毎日をつくっていきましょう。

＜第二種社会福祉事業＞

・保育事業　　・小規模保育事業　・延長保育事業
・一時預かり事業　・病児保育事業　・地域子育て支援事業

＜各保育園の定員及び職員数(令和８年度見込み)＞

保育園名	定員	職員数
ごしょの保育園	120 名	39 名(20 名)
かわしり保育園	60 名	25 名(19 名)
阿久和保育園	80 名	40 名(24 名)
西柴保育園	60 名	25 名(18 名)
上永谷西保育園	80 名	32 名(21 名)
阿久和キッズ	19 名	11 名(7 名)
合計	419 名	172 名(109 名)

※(　)内は正規職員数

【参考】秋田地区の職員の配置基準　０歳児 ３：１、１歳児 ５：1、２歳児 ６：1
横浜地区の職員の配置基準　０歳児 ３：１、１歳児 ４：1、２歳児 ５：1

1. 理念を基軸とした法人運営

法人理念および保育理念を基盤とし、子ども・保護者・地域・職員のすべてにとって安心と信頼を提供できる組織づくりを進める。理念を共有し、同じ価値観のもとで保育を行うことが、安定した運営と質の高い保育につながる。日々の実践に理念を反映させる取り組みを継続する。

2. 安定した保育運営体制の構築

安定した運営体制は、子どもの安心・安全、そして職員が落ち着いて保育に向き合える環境の基盤となる。

・「プラス ONE 計画」により、通常配置に加えて 1 名の余裕を持たせた職員配置を行い、手厚い保育と急な欠員への対応力を高める。
・ノンコタクトタイムを確保しやすくし、学習時間を確保する。
・感染症罹患、年度途中の退職、産休・育休などによる一時的な欠員にも柔軟に対応し、保育の継続性を確保する。
・安定した体制は、保育の質向上、職員の心理的安全性の向上、離職防止、採用力の強化にもつながる。

3. 人財育成の体系化と強化

職員一人ひとりの成長が、法人全体の成長と保育の質向上につながるという考えのもと、計画的な人財育成を進める。

・法人主催の園長会・研修会を定期的に開催し、保育観の統一と質の向上を図る。
・キャリアアップ研修の計画的受講を支援し、専門性向上とキャリア形成を促進する。
・e ラーニングを活用し、時間や場所にとらわれない継続的な学びの機会を提供する。
・研修成果を人事評価制度と連動させ、学びが実務に反映される仕組みを整える。

4. 働きやすい職場づくり

職員が安心して働き続けられる環境づくりは、保育の質と法人の持続性を支える重要な要素である。

・人事評価制度の透明性を高め、職員が成長を実感できる仕組みを整備する。
・面談やフィードバックの質を向上させ、モチベーションの維持・向上につなげる。
・プラス ONE 計画による余裕ある配置は、業務負担の軽減と働きやすさの向上に寄与する。
・職員同士が支え合い、安心して意見を交わせる職場風土の醸成を進める。

5. 地域共生社会への参画

地域に根ざした保育事業者として、地域とともに子どもを育てる環境づくりを推進する。

・地域住民や関係機関との連携を深め、子育て支援拠点としての役割を強化する。
・子育て相談、地域交流イベント、世代間交流などを企画・実施し、地域全体で子どもを支える仕組みを広げる。
・竿燈祭りの伝承、移動動物園、音楽コンサートなど、地域に根ざした特色ある活動を展開する。
・産前産後の方々に対して、専門機関の助産師にも参画いただき、職員と連携しながら支援を行っていく。

＜木育活動について＞

・2027 年（令和 9 年）には横浜 GREEN×EXPO の開催が予定されており、木育活動を通じた SDGs 啓発にも継続して取り組む。

・今年度は上永谷西保育園でも木育ひろばを実施し、横浜地区全園での開催を実現する。
・今後は木育ひろばに限らず、地域と連携した木育活動を継続的に発展させていく。
・地域課題の解決に寄与する取り組みを通じて、法人の社会的責任と存在価値を高める。

6. IT・AI 活用による業務改善の推進

業務の効率化と情報管理の適正化を図り、職員の負担軽減と保育の質向上につなげる。

・AI ツールや IT サービスを活用し、園だより・行事案内などの作成を効率化する。文章作成・校正、画像加工などの事務作業を軽減する。
・情報セキュリティに配慮したガイドラインを策定し、安全で効果的な IT 活用（コドモン、おが～るシステム等）の定着を図る。

7. かわしり保育園 大規模改修工事の適正な工程管理

大規模改修工事を安全かつ計画的に進め、施設価値の維持と地域からの信頼向上を図る。

・設計監理者および施工業者と緊密に連携し、工程表に基づく進捗管理を徹底することで、計画的な工事完遂（資金管理を含む）を目指す。
・園児・保護者の安全確保を最優先とし、騒音・振動など保育環境への影響を最小限に抑える。
・工事完了後は、入園者増につながるプロモーションや地域との関わりを強化し、信頼獲得を進める。

これらの取り組みを着実に進めることで、地域から信頼され、職員が誇りを持って働ける法人づくりを推進する。

以上

令和８年３月 25 日

令和８年度
ごしょの保育園 事業計画

1. 事業内容
   - ・保育事業
   - ・一時預かり事業
   - ・延長保育事業
   - ・病児保育（体調不良児対応型）事業
   - ・障害児保育事業
   - ・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

【保育園をめぐる状況】

秋田県の少子高齢化問題に、理事長はじめ法人本部が早期に対応してくださっていることで、職員は戸惑うことなく保育ができている。その少子化対策の一つが、定員変更である。令和８年度からは、定員人数を１６０名から１２０名に変更し保育を行っていくことが決定している。令和８年度４月１日時点での園児数は１０８名となる見込みで、最小人数である。この事実を悲観視せず、前向きに捉えていきたい。これまでは、集団での育ちをメインに保育をしてきた。これからは集団の育ちを意識しながらも、より子ども一人ひとりに目を向けた、きめ細かい保育を展開していきたい。

園の設備においては、老朽化に伴い、様々な部分を修繕してきている。今後も子どもたちの安全を考慮し、必要に応じて対応していく。その中でも緊急性を持って対応が必要なのが、不審者と熊への対策である。特に熊問題については、子どもたちの命を脅かす事態になり兼ねない。今年度は、園庭に侵入防止のフェンスの設置と正面玄関前に門扉を設置するための交付金の申請手続きを行い、令和９年度には設置する方向で動いている。そのことを含め、保育園の安全性がより高まり、利用する子どもと保護者の安全・安心につながる手立てをできる限り講じていきたい。

また、令和８年度は秋田市の方針として、幼保小の連携強化（架け橋期のカリキュラム作成）に重点を置くことがわかっている。架け橋期のカリキュラム作成に取り組みながら、自園においても就学に向けた、０歳児から５歳児のより一貫した保育の展開を進めていきたい。

最後に、新体制となるごしょの保育園が、これまでの経験や良さを生かしつつ、その上で変革にも積極的に取り組みながら、さらに丁寧で温かく、より安心できる保育園を目指して、全職員で力を合わせて取り組んでいきたい。

【基本方針】

「子どもの最善の利益を第一に、個性を育み、自己肯定感が高まる保育を目指すこと」「家庭や地域と連携し、地域社会に根差した保育を展開すること」を保育理念とし、子どもたちが「愛されている、受け入れられている」という心地よさを感じながら、仲間とともに生きる力の基礎となる、「生活する力」「遊ぶ力」「考える力」「楽しむ力」を身に付けることができるよう、家庭と保育園を連動・継続させて子どもの成長を支えていきたい。

3. 重点施策

（1）安全で安心の基、子どもの主体性を尊重した保育の展開（目標達成期日：年度末）

これまでも、子どもの主体性を尊重した保育については、研究や研修で取り組み、職員にも染みついてきていると感じる。子ども一人ひとりに寄り添ったきめ細かい保育を展開していこうとする中で、今一度、子どもの主体性を尊重する保育とはどのような保育なのか、原点に立ち返り、より丁寧な保育を目指していきたい。主体性を尊重した保育をしていくことで、子どもたちの自立心の育成や自己肯定感の向上、社会性の発展、創造性や問題解決能力の向上などといった、生きる力の基盤となる大切な能力を育んでいるということを、改めて職員と共通理解し、誇りをもって取り組んでいきたい。

（2）幼保小の連携の強化と、連続性のある保育の構築（目標達成期日：年度末）

令和８年度は幼保小の連携を強化し、架け橋期のカリキュラム作成に、一緒に取り組んでいくこととなる。小１プロブレムなどの様々な課題が取り沙汰されている中で、幼保小が連携し、小学校との接続部分の課題を共有することは、一貫した方向性をもって地域の子どもたちの成長を支えるために、大変重要だと考える。これを受けて、今年度保育園として、以下のことを意識していきたい。

・「幼児期までに育てたい１０の姿」を意識した連続性のある保育の展開
・リズムあそびの充実による、健全な心身の発達
・地域交流への積極的な参加による、社会性の向上や地域への愛着形成の構築

（3）業務改善を通した働きがいのある職場づくり（目標達成期日：年度末）

令和６年度から継続して業務改善を進めてきている。様々な業務や行事が見直しをされ、職員の負担軽減に確実につながっていると感じる。今年度も引き続き、業務改善を意識し取り組み、職員が保育にやりがいを感じて、主体的に働くことができるような職場づくりを目指す。

・おが～るシステムを活用した、業務の効率化
・シフト作成や管理のシステム化
・協働の意識を高めた、チーム保育の推進　　等

4. 地域共生社会に向けた取り組み

子どもを中心に、家庭と地域関係機関が相互に支え合うことが重要と考える。これまで行ってきた、地域交流を継続して取り組みつつ、地域に開かれた保育園としての在り方も考えていく。

（1）地域交流の推進(年数回　通年)

・地域の行事、活動に積極的に参加していく。
・近隣の高齢者施設や養護施設、小学校、中学校、高校等とのつながりを深め、世代を超えた人と人との交流を進める。

（2）地域を基盤とする包括的支援の強化（毎月１回　通年）

・子育て支援・相談の内容を見直し、さらなる充実を図りながら、地域の子育て世帯の支援に取り組んでいく。
・障がい者の雇用を継続し、共に生きる社会実現へ微力ながら参画していく。

（3）地域の方々への保育参観や園見学を通した、見える化の強化（年１回　１月頃）

・地域の方々を園の行事に招いていく。

・民生委員の方を招いて、保育参観や園見学を通して、話し合いの場を設けていく。

5. 施設整備及び備品等購入計画

（1）施設整備

案件名	時期(予定)	工事・設置金額 (千円単位)	理由
エアコン入替工事 （職員室・応接室）	4 月	638 千円	購入から 11 年以上が経過し、劣化が見られるため
園庭の日よけ対策	6 月	100 千円	遮光ネット設置、撤去工事

（2）備品購入計画

備品名	時期 (予定)	単価 (千円単位)	数量	金額 (千円単位)	理由
デジタルカメラ	5 月	50 千円	4	200 千円	業務効率化のために各クラスに配置
玩具	9 月	300 千円	1	300 千円	古くなった各クラスの玩具の更新

6. 部門別保育年度達成目標

（1）乳児保育部門

0 歳児・保育者の愛情のもと、一人ひとりの生理的・心理的欲求が満たされ、健全な生活を送る。

1 歳児・保育者に見守られながら、身近な人や物に興味をもち、関わりを広げる。

2 歳児・保育者や他児と生活する中で、様々なことに興味や関心をもち、自分でやろうとする意欲をもつ。

（2）幼児保育部門

3 歳児・保育者や友だちと関わる中で、自分の気持ちを出しながら遊びを十分に楽しむ。

4 歳児・友だちとの関わりを通して、心を豊かにし、目的をもって行動する。

5 歳児・友だちと経験する様々な活動を通して、仲間の意思を大切にし、考えて行動する。

（3）給食部門

・子どもにとってより安全で安心な給食の提供の実現のため、衛生管理の徹底と衛生マニュアルを遵守した作業の継続に努める。

・食物アレルギー対応をしっかり行うとともに、食事提供の原則をして「組織的対応、完全除去、安全配慮」を実践し、「誤食の防止」を職員全体で周知徹底する。
・発達段階や個々の興味や関心に応じた食育活動が行えるよう、年間食育計画の工夫・改善を図る。
・複数人いる栄養士の長所を生かした献立になるよう、季節の食材、郷土食、行事食等、工夫をこらして取り組むようにする。
・離乳食の進行に応じて保護者との連携を深め、0歳児からの食事に関わり、安心感を与えるような保護者支援をする。

（4）子育て支援部門

保育園を利用している保護者に対する子育て支援

・保護者が子どもの成長に気付き、子育ての喜びを感じることができるよう、信頼関係を一層深めるように努める。その際は、保護者のそれぞれの置かれた状況に職員全員で配慮する。
・懇談会や面談等を通して、子育てに悩んだり、不安を感じたりする保護者同士が情報交換したり、保育者と相談する機会をできるだけ多く設定する。

地域の保護者等に対する子育て支援

・未就園児を対象に地域の交流センターで行っている子育て支援活動では、その意義を全職員で共有し、保育や食の専門性を活かした子育て支援ができるよう一層努めていく。（リズム、簡単な制作、食育の相談等）
・給食試食会や園見学などについて、実施時期や方法について検討していく。

（5）地域交流部門

近隣の中学校・高校との交流

・可能な範囲で行事を通しての交流や要望に積極的に応じ、職場体験やボランティア等の受け入れを行っていく。また、リズムあそび発表会など相手施設を活用しての活動にも積極的に取り組む。

地域の福祉施設との交流（若竹学園、シルバーエリア、ふれあいセンター、けやき会等）

・様々な感染症の状況を把握しつつ、可能な範囲で積極的に交流を行っていく。訪問等が難しい場合でも、手紙や動画等で子どもの姿や園での活動を知ってもらえるような取り組みを工夫する。

（6）姉妹園交流部門

・行事を通しての交流（野菜の苗植えや収穫活動、竿燈壮行会への参加等）
・職員研修での交流、職員同士での意見交換の継続
・職員の派遣による交流（休日保育、竿燈行事への協力）
・各姉妹園の行事への参観（運動会、発表会）

7. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和８年４月１日の見込み数)　　(単位：人)

年齢別区分	令和７年度継続児	令和８年度新入児	合計
0 歳児	2	2	4
1 歳児	9	3	12
2 歳児	20	0	20
3 歳児	24	1	25
4 歳児	24	0	24
5 歳児	24	0	24
合計	103	6	109

※「令和８年度新入児」は、市役所からの通知（3 月 9 日現在の申込数）による。

(2) 職員数(令和８年４月１日の見込み数)　　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
正職員	1	14	0	3	0	1	1	20
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	1	1
パート職員	0	13	1	0	2	1	0	17
障がい者人財	0	0	0	0	0	1	0	1
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	27	1	3	2	3	2	39

8. 行事計画

月	名称	内容
4	進級・新入日	進級園児・新入園児を職員全員で受け入れる。
	おおきくなったね、おめでとうの会	進級・新入をみんなでお祝いする。
	ごしょの会総会	保護者会の昨年度の活動内容報告や今年度の方針について話し合う。
5	こいのぼり集会	みんなで端午の節句をお祝いする。
	内科健診	園医の千葉先生による健診を行う。
6	年長児保育参観・参加、クラス懇談会	保育園での様子を参観したり、親子で一緒にあそんだりしながら成長を共有する。
	歯科健診	園医の平塚先生による健診を行う。
7	ごしょの夜まつり	年長児が夜の保育園で楽しい活動を行う。
	七夕集会	子どもたちのお願いを短冊に書いて飾り、行事の由来について知る。
	夏まつりごっこ	園児と職員で、夏まつりごっこを楽しむ。
8	かわしり保育園竿燈壮行会	竿燈に参加するかわしり保育園園児を応援する。
9	運動会	御所野小学校のグラウンドや体育館で運動遊びやリレーなどをして楽しむ。
	自由保育参観・参加週間	保護者の方にも積極的に保育に参加してもらう。
10	リズム発表会	リズムあそびの発表を楽しむ。
	遠足	以上児が学年ごとに園バスに乗って出かける。
	保育参観・クラス懇談会（3 歳児・4 歳児）	保育園での様子を参観したり、親子で一緒にあそんだりしながら、子どもの成長を共有する。
	内科健診	園医の千葉先生による健診を行う。

11	おたのしみ発表会・懇談会（2 歳児クラス）	保育園のホールで、保護者から離れて簡単な発表をする。
12	発表会（3 歳児～5 歳児）	普段の保育園生活で身に付けたことを演目の内容に組み込み、秋田テルサの会場で発表する。
	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しむ。
1	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いする。
	親子お楽しみ会・懇談会（０歳児・1 歳児クラス）	園児と保護者が一緒になって、体を動かしたり、読み聞かせを聞いたりして楽しむ。
2	節分集会	みんなで集会をして節分についての由来を知る。
	年長児保育参観・クラス懇談会	卒園の思い出になるものを親子で力を合わせて作ったり、歌や詩を聞いてもらったりする。懇談会では、卒園を前にこれまでの園生活を振り返り、成長を喜び合う。
3	ひなまつり会	みんなで集会をして、ひなまつりの由来を知り、お祝いをする。
	ばらくみさんありがとうの会	年長組の子ども達へ感謝の気持ちを込めて、在園児がプレゼントを渡したり、おやつパーティーをしたりして楽しむ。
	卒園式	ごしょの保育園のホールで、年長児（ばらくみ）の卒園をお祝いする。
毎月	避難訓練（不審者訓練含む）・誕生会・リズムあそび	
年１回	各クラス懇談会・個人面談（実施時期は各クラス毎に異なる）	

9. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
申し送り	１日１回
職員会議	月１回
給食会議	月１回
クラス会（園長・主任・担任・補助保育士参加）	月１回
園長・主任・副主任会議	案件がある場合に随時
ケース会議	案件がある場合に随時
チーフ会	案件がある場合に随時

※月に一度は職員全員で「法人理念」「保育理念」「基本方針」「園目標」の読み合わせを行う

10. 研修計画

【園内研修・研究】

異年齢構成の小グループ編成をし、チームで研究に取り組む

・「目に見えないものに眼差しを注ぐ～子ども大好き！保育大好き！の保育者像を目指して～」という園全体の研究テーマのもと、「チーム保育を活性化する」という観点から、今年度も経験年数の異なるメンバーによる小グループを編成し、研究テーマに沿って取り組んでいく。資料作成等の手間を省き、保育場面を切り取った一枚の写真をもとに、それぞれの意見を交換し合う形式にすることで、チームとしての意識向上や保育の力量向上に繋げていく。

若手職員の育成

・園内研究の１つとして、保育に関する知識や考えを深めることができるようなテーマを設け（絵本の読み聞かせ等)、若手職員個人でその資料作りや発表等を行う。

【園外研修】 ＊この他、各職員の年度目標と照らし合わせながら､随時研修の申し込みをする予定。

月	一般的な研修 (法人主催の研修会も含む)	キャリアアップ研修	内容
4	秋田市地区保育士会総会		・保育士会活動内容の報告、予算案の承認、講演会。
	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	園長等運営管理協議会		・秋田県就学前教育における年度の重点等の伝達等。
	新規採用者研修Ⅰ		・新規採用者を対象とした研修
5	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	保健部会		・保健担当の職員（主に看護師等）が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		・子育て支援担当者が集まり、情報提供や情報交換等を行う。
	教頭・主任等研修会Ⅰ		・市や県の動向の伝達内容を含めた教頭、主任保育士に対する研修、情報交換等。
	新規採用者研修Ⅱ		・新規採用者を対象とした研修
	こどもたちの育ちを支えるにあたり保育者が大切にすべきこと		・法人主催で、Web 研修（かわしり保育園と合同）
	子どももワクワク、保護者もワクワク保育を楽しむためには		・法人主催で、Web 研修（かわしり保育園と合同）
	園内研修リーダー養成講座（応用編）		・園内研修の進め方や内容について考えを深め、自園の研修に活かす
6	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	コミュニケーション研修会（導入・応用・発展）		・法人主催で、講師を招いての研修（かわしり保育園と合同）
	メンタルヘルス研修会		・法人主催で、講師を招いての研修（かわしり保育園と合同）
	新規採用者研修Ⅲ		・新規採用者を対象とした研修
	５年経験者研修Ⅰ		・５年以上の経験者を対象とした研修。
	中堅保育者資質向上研修Ⅰ		・10 年以上の経験者を対象とした研修。
	保育実践力向上研修Ⅰ		・３年以上の経験者を対象とした研修。
7	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。

	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	保健部会		・保健担当の職員（主に看護師等）が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	前期南部地区幼保小連絡協議会		・地区の小学校、幼稚園、こども園、保育園が集まり、授業・保育参観や情報交換等をする。
	新規採用者研修Ⅳ		・新規採用者を対象とした研修
	特別支援教育担当者研修会		・特別支援担当を対象にした研修。
	こどもたちの育ちを支えるにあたり保育者が大切にすべきこと		・法人主催で、Web 研修（かわしり保育園と合同）
	インクルーシブ保育と保護者との連携の仕方		・法人主催で、講師を招いての研修（かわしり保育園と合同）
	中堅保育者資質向上研修Ⅱ		・10 年以上の経験者を対象とした研修。
	就学前・小学校地区別合同研修会		・年長児担当者と１年生担当者を対象にした研修。
8	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	５年経験者研修Ⅱ		・５年以上の経験者を対象とした研修。
	中堅保育者資質向上研修Ⅲ		・10 年以上の経験者を対象とした研修。
	乳幼児保育研修会		・０～２歳児担当を対象にした研修。
	子どももワクワク、保護者もワクワク保育を楽しむためには		・法人主催で、Web 研修（かわしり保育園と合同）
	保健衛生研修会		・保健衛生担当者を対象にした研修
9	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	新規採用者研修Ⅴ		・新規採用者を対象とした研修
	中堅保育者資質向上研修Ⅳ		・10 年以上の経験者を対象とした研修。
10	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		・子育て支援担当者が集まり、情報提供や情報交換等を行う。
	秋田市地域子育て支援ネットワーク研修会		・子育て支援担当者が集まり、子育てに関する研修会を行う。
	施設交流		・他園を訪問し、1 日保育に参加する。
	保育実践力向上研修Ⅱ		・３年以上の経験者を対象とした研修。
	マネジメント研修会		・ミドルリーダーの役割を担う職員を対象とした研修。
	中堅保育者資質向上研修Ⅴ		・10 年以上の経験者を対象とした研修。
	秋田県保育士会研修会		・保育士会主催の研修。（内容はその年に応じて異なる）
11	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。

		キャリアアップ研修	・e-ラーニングによる研修
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	後期南部地区幼保小連絡協議会		・地区の小学校、幼稚園、こども園、保育園が集まり、授業・保育参観や情報交換等をする。
	教頭・主任等研修会Ⅱ		・市や県の動向の伝達内容を含めた教頭、主任保育士に対する研修。
	新規採用者研修Ⅵ		・新規採用者を対象とした研修
	５年経験者研修Ⅲ		・５年以上の経験者を対象とした研修。
	中堅保育者資質向上研修Ⅵ		・10 年以上の経験者を対象とした研修。
	園内研修リーダー養成講座（応用編）		・園内研修の進め方や内容等について考えを深め、自園の研修に活かす
12	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
		キャリアアップ研修	・e-ラーニングによる研修
1	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	新規採用者研修Ⅶ		・新規採用者を対象とした研修
	中堅保育者資質向上研修Ⅶ		・10 年以上の経験者を対象とした研修。
2	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	主任保育士部会		・市内の施設の主任保育士が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	コミュニケーション研修会（発展・応用）		・法人主催で、講師を招いての研修（かわしり保育園と合同）
	保健部会		・保健担当の職員（主に看護師等）が集まり、勉強会等を行う。
	給食担当者部会		・市内の施設給食担当者が集まり、情報交換、勉強会等を行う。
	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		・子育て支援担当者が集まり、情報提供や情報交換等を行う。
3	施設長会		・市や県の動向の情報提供、施設運営に関する情報交換等。
	かわしり・阿久和・西柴保育園・阿久和キッズ卒園式		・姉妹園の卒園式に祝詞を送る。

以上

令和８年３月 25 日

令和８年度
かわしり保育園 事業計画

1. 事業内容
   ・保育事業
   ・一時預かり事業
   ・延長保育事業
   ・障害児保育事業
   ・休日保育事業
   ・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

○　秋田市においては、これまで以上に少子化や保育園の統廃合の波が進んできている。自園においても令和８年度は、60 人の定員に満たない状況である。かわしり保育園として、他園との差別化を図り、子どもを託すにふさわしい、魅力ある保育運営の推進が益々必要といえる。これまで以上に、全職員で全園児に関わり丁寧な保育を行うこと、子どもの育ちに即した行事運営と精査、ＨＰや各種ツールを使用した広報活動の充実、ふるさと秋田を大切にする取り組みとアピール、地域や保護者との交流行事の充実など、職員が一丸となって子どもの最善の利益に向かって歩んでいる姿を求めていきたい。そして、大規模改修による園舎の刷新による魅力のアップも加味して、預けて良かった、友だちにも紹介したい、そんな保育園を目指したい。

○　６月には、仮設園舎に引っ越し、７ヶ月間の狭い空間での生活が始まる。園庭やホールの無い状況を補完するために、積極的に園外活動を推進していくことを考えている。近隣地域の公園や施設の活動場所のリストアップ、移動手段、人員配置など、子どもの安全確保を第一に計画を推進したい。子どもにも職員にも過度の負担にならないよう、十分な配慮を重ねたい。また、現在の各保育室や厨房関係の移設する備品や改修園舎に新設する備品など選定作業と共に、この機会に廃棄するものを確定し整理していきたい。いずれにしても、法人・園・工事関係者等で定例会などを通じて緊密に連携をとることと職員全体の想いを高めながら、この大事業を成就したい。

＜基本方針＞

法人理念・保育理念・かわしり保育園の保育目標を基に、子ども一人ひとりに寄り添った保育を進めていく。子どもや職員が「安全・安心」に過ごせるよう、保護者や地域等と連携をとりながら、子どもの最善の利益を第一に、個性や自主性を育み、自己肯定感が高まるよう、バランスの取れた保育・園運営に努めていく。

3. 重点施策

(1) 一人ひとりの子どもの良さや自主性を育てるバランスのとれた保育（年度末）

子どもたち一人ひとりは、かけがえのない存在である。その大前提に立ち、子どもの保育にあたることが肝要である。月齢による発達の差やその子自身の特性をとらえ、その子の良さや可能性、自主性を育てるバランスのとれた保育を展開したい。また、自分なりに物事を工夫したり、各行事や観察など多様な場面を通じて、自己決定していく場面を増やしたりするなど、自主性を育てていくことも大切にしていく。自ら学び考えるこどもという小学生以降の姿の基盤づくりを整えていく。私たちも多様な視点から子どもを見つめとらえるということを共通認識したい。

(2) 働きがいのある職場と協働性の構築　（年度末）

職員一人ひとりの立場や状況に互いに思いをはせ、馴れ合いでは無く互いに補い合う温かい職場でありたい。隠れている頑張っている姿を見逃さず正当に評価する場でもありたい。人事評価制度を有効活用すると共に、目標成果シートやジョブマトリックスなどを活用し、自分の役割と責任を明確化する。それぞれの強みと弱みをリスペクトしながら、方向性がぶれることなく協働性を高めていきたい。毎日の定期的なミーテングの場面等も活用し、意見を共有する場を積み上げると共に、様々な改善策等を率直に伝え合うことを大事にしたい。また、シフトを柔軟に活用し、事務作業や準備の時間を適切に設定する。

(3) 職員の資質能力の向上と業務の効率化　（年度末）

保育所や教育施設は、人間の成長発達の基盤をつくりあげていく重要な使命を担っている。特に幼い子どもを預かる保育園は、安心・安全な居場所となることが常に求められている。私たちは、子どもたちの健全な成長と発達を支える重要な役割をもつ仕事であることをあらためて自覚したい。そのための自分自身の啓蒙や資質能力の向上のための取組を深めたい。キャリアアップ研修や園内研究、法人独自の研修など様々な機会を活用して自分磨きをするというプロ意識をもちたい。それと共に、行事や運営方法においても、これまでを踏襲するということだけに陥ることなく、見直し、改善、ＩＣＴの活用を意識して業務の効率化を進めていきたい。

4. 地域共生社会に向けた取り組み

(1) 子育て支援の拠点として　（仮設園舎中は２回程度、ホール完成後１回程度）

法人として地域共生社会の実現化に積極的に舵をとっている。秋田地区保育園においても、地域と共に子どもたちの成長を支え、保護者や地域住民との連携を通じて、共生社会の実現に貢献する役割が求められている。その意味において、私たちは地域の子育て支援の拠点としての役割を担っているのか、どんな活動が可能なのか検討する必要がある。地域の子育て家庭への園開放日などを通じてのサポート、一時預かり事業、地域にも開放しての子育て講座の開催など、計画の実現を探りたい。今後、改修によるホールの大型化、2 階多目的室などの活用を通じて地域に公開するイベントの実現を図りたい。

(2)　地域交流も含めた積極的な園外活動の推進（月７回程度の園外活動）

子どもたちは、園生活での様々な人との関わりや地域環境、家族や親族とのふれあいのもとで育っていく。川尻地区にも高齢者施設や様々な企業、子ども食堂など多様な場所がある。園外活動等においては世代にとらわれない様々な人との交流を深め、ふるさと秋田を知る機会も増やしていく。近隣商業施設での子どもたちの定期的な作品展示、ハロウィンでの地域各所の訪問など地域との関わりも継続して大切にしていきたい。また、障がい者人材の活用については、かわしり保育園にとってどんな人材が望ましいのか、その可能性を検討していきたい。（９月以降、特別支援学校訪問、調査）

5．施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

案件名	時期 （予定）	工事・設置金額 （千円単位）	理由
大規模改修工事に関わる経費	１年間	別途試算	大規模改修工事実施に伴う 支払いは別途計画による

(2) 備品購入計画

備品名	時期 （予定）	単価 (千円単位)	数量	金額 (千円単位)	理由
ＰＣの補充更新	５月	150 千円	3	450 千円	台数の補充（ＩＣＴ化の推進のため）リース契約で５年間の支払（月１台につき 3,000 円程度） 昨年に引き続き補充
玩具の補充刷新	５月	168 千円	一式	168 千円	ブロックやレゴなど知育玩具を中心に、仮園舎生活を充実させるための玩具を補充する。

6．部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

乳児　：・保育者と温かい関わりの中で信頼関係を築く。
・衛生的で安全な環境の下で、生命の保持・情緒の安定を図る。
・安心できる人的・物的環境で、聞く・見る・触れるなどの経験を通し、身のまわりに対する興味や関心が芽生える。
・離乳食や歩行、発語の意欲へ向けて段階的な発達をする。

１歳児：・情緒が安定し、身の回りのことに興味を持つ。
・探索活動を通して、自由に体を動かすことを楽しむ。
・保育士や友だちと関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。
・少しずつ言葉を覚え、自分の欲求や気持ちを簡単な言葉で伝えようとする。

2歳児：・自分の思いや要求を表し、安心して過ごす。
・生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする。
・保育士や友だちと関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ。
・言葉のやり取りや表現する楽しさを味わう。

(2) 幼児保育部門

3歳児：・生活の仕方がわかり、自分で身のまわりのことをしようとする。
・体を十分に動かして、様々な動きのある遊びを楽しみ、心地よさを味わう。
・保育者や友だちと親しみ、心地よさを味わう。
・自分の要求や感じたことを自分なりの方法で表現する。

4歳児：・全身を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
・日常生活に必要な習慣や態度を身につける。
・いろいろな遊びに興味を持ち、保育者や友達との関わりを広げる。
・身近な事象に興味をもち、遊びや生活に取り入れる。
・自分の気持ちを言葉で伝えたり、相手の思いに気づいたりしながら、友達と一緒に遊ぶ。

5歳児：・集団生活の中で意欲的に活動し、仲間との関わりを通して生きる力の基礎を培う。
・疑問や発見などによる事物への関心を深める。
・物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
・相手の気持ちを考え、認め合いながら遊ぼうとする。

(3) 給食部門

・「安定した給食」や「安心・安全な給食」の提供のため、厨房職員が率先して健康管理、衛生管理を徹底していく。
・給食を通して、子ども達が旬の食材や味覚に触れ、食体験の機会を増やす。
・年齢に合った食材の固さ、形態、嗜好等、その都度給食職員、保育士で話し合い連携していく。

(4) 地域交流部門

・職場体験やボランティアの積極的な受け入れ、また、近隣の小学校との交流を深める。
・竿燈祭りに参加し、郷土のまつりにふれることを楽しむ。ホールのない状態なので、職員や子どもに過度の負担をかけないよう、活動を縮小して安全第一の取組とする。
・今年度は園庭のない状態、近隣公園や児童会館、八橋公園、シルバーエリアなど各所を活用し、子どもたちの園外活動の充実を図る。また、ごしょの保育園や山王幼稚園とは御山野楽校で一緒になる機会が多い。交流の場づくりを工夫したり、一緒にあそんだりなど関わりを充実させる。

(5) 子育て支援部門

・仮園舎生活であるが実施時期等を検討し、年２回の個人面談の機会を大切にする。子どもを中心にすえ、常日頃から子どもの様子を伝え合うことで、家庭との連携や信頼関係を継続してつくる。

・今後も園開放行事については、「地域の就学前の親子が楽しんで遊べる場」「子育ての話が気軽にできる交流の場」「かわしり保育園（の保育）を知ってもらえる場」を３本の柱とすると共に、実施回数の検討も含めて今年度の改修工事の状況を踏まえて企画等を検討する。
・入園予定の子どもには、早い機会に園開放予定日やかわしり保育園の近況など通知を送り、園と関わる機会、話を聞く機会を積極的に設けるなど関係づくりに努める。また、市内各所にパンフレットや園舎の改修完成予定図などを置いてもらい広報活動にも努める。

7. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 8 年 4 月 1 日の見込み数)　　(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0 歳児	2	4	6
1 歳児	7	1	8
2 歳児	10	0	10
3 歳児	8	0	8
4 歳児	11	0	11
5 歳児	8	0	8
合計	46	5	51

(2) 職員数(令和 8 年 4 月 1 日の見込み数)　　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	15	0	2	0	1	0	19
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0
パート職員	0	3	0	0	1	0	1	5
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	1	18	1	2	1	1	1	25

8. 行事計画

月	名称	内容
4	進級・新入を祝う会	進級・新入をみんなでお祝いします。
	端午の節句集会	端午の節句をみんなでお祝いします。
5	以上児親子遠足	親子で遠足を楽しみます。
	内科健診①	嘱託医が園児の健康診断を行います。
6	歯科健診	嘱託歯科医が園児の歯科健診を行います。
7	七夕集会	みんなで七夕を楽しみます。
8	竿燈まつりへの取組	秋田市竿燈祭り
	個人面談	お家の方と面談をします。（全園児）
9	お泊り会	年長児がお泊り会に参加します。

10	運動会	運動会に参加します。
	内科健診②	嘱託医が園児の健康診断をします。
12	お楽しみ発表会	発表会を楽しみます。
	個人面談	お家の方と面談をします。（希望者のみ）
	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しみます。
1	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いします。
	園外活動（買い物・お参り体験など）	年長・年中児のチャレンジ行事
2	節分集会	みんなで豆まきをします。
	保護者会総会	役員選出等の総会をします。
	ひな祭り会	みんなで桃の節句をお祝いします。
3	卒園式	年長児の卒園をお祝いします。
	お別れ遠足（ぞうくみ）	年長児がみんなで遠足を楽しみます。
	園内お別れ会	みんなで、ぞうくみの卒園をお祝いします。

・毎月の誕生会は、以上児と未満児に分かれて実施します。
・避難訓練（消火訓練、不審者訓練含む）は毎月行います。
・園バスを有効活用し、季節感のある園外での活動を楽しみます。

9. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月１回（2 回に分けて）
厨房会議	月１回
チーフ会や主任・副主任会	必要に応じて
園内研究・研修会	研究推進チームの年間計画により、保育公開・実務研修等を実施
代表打ち合わせ会 （申し送り、伝達事項、週の動き等）	毎日

※職員会議の冒頭で法人理念、保育理念、園目標等の周知を図る場面を想定

10. 研修計画

○園内研究・研修

・これまでの園内研究や研修及び園評価等をもとに、かわしり保育園としての保育の在り方や園全体のスキルアップを進めていく。マニュアル等を活用した実務研修と重点目標をベースとした園内研究を両輪として、全体を向上させていく。
・キャリアアップ研修、法人研修を有効活用し、研修の幅を広げていく。ｅラーニングやＷＥＢ研修などを積極的に活用する。また、情報の共有の機会を積極的に設定する。
・研修等においては、資料の事前渡しや予備学習をしておくようにする。そして、意見や考えをまとめておく。どの職員も、最低一人１回は発言できるように、司会も努めて、グルーピングや話し合い方の工夫を続けていく。分からないことを聞くことが恥ずかしいことではないという雰囲気づくりと、新たな気づきや学びを丁寧に

取り上げていくことで、一人一人の資質能力が向上していくことを園全体で意識していく。

○園外研修

※仮設園舎での生活なので無理のない範囲で、対面研修とＷＥＢ研修を組み合わせ、県外への出張も必要に応じて進める。姉妹園や横浜地区への職員派遣や研修も少しずつ広げていく。

月	一般の研修名 （処遇改善以外の研修）	キャリアアップ研修等	内容
4	研究部会		市内各園代表保育士の研究部門の情報交換及び研修計画
	園長等運営管理協議会		秋田県教育庁幼保推進課主催、国の動向や県の重点等の指示伝達
	幹事会		秋田市保育士会の代表幹事による情報交換と研修企画
	施設長会		県、市の情報共有、各園との情報交換、原則月１回程度の開催
5	研究部会		市内各園代表保育士の研究部門の情報交換及び研修計画
	教頭・主任等研修会１		県主催による主任等の研修会
	主任保育士部会		秋田市保育士会主催による主任保育士の情報交換及び研修
	保健部会		秋田市保育士会主催による看護師等保健担当者による情報交換研修
6	幹事会		秋田市保育士会の代表幹事による情報交換と研修企画
	研究部会		市内各園代表保育士の研究部門の情報交換及び研修計画
	子育て支援ネットワーク		中央地域の子育て支援担当者が集まり、年間計画、情報交換等を行う。
	コミュニケーション研修① メンタルヘルス研修会①		法人研修（全職員対象） ごしょの保育園との合同研修
7	主任保育士部会		秋田市保育士会主催による主任保育士の情報交換及び研修
	研究部会		市内各園代表保育士の研究部門の情報交換及び研修計画
	保健部会		秋田市保育士会主催による看護師等保健担当者による情報交換研修
8	乳幼児保育研修会		県主催による研修会
9・10	ごしょの保育園運動会		運動会見学
	山王幼稚園・保育園運動会		運動会見学
	給食部会		秋田市保育士会主催による栄養士等給食担当者による情報交換研修
	主任保育士研修会		秋田市保育士会主催による主任保育士の情報交換及び研修

	阿久和・西柴・上永谷西 保育園運動会見学		運動会見学
	秋田市幼保小連絡協議会		幼保小の授業や保育参観及び情報交換
	幹事会		秋田市保育士会の代表幹事による情報交換と研修企画
	川尻小学習発表会		学習発表会見学
11	教頭・主任等研修会 2		県主催による主任等の研修会
	給食部会		秋田市保育士会主催による栄養士等給食担当者による情報交換研修
		県キャリアアップ研修 前期	Ｅラーニング
	学習会		秋田市保育士会主催によるテーマに基づいた勉強会
	主任保育士部会		秋田市保育士会主催による主任保育士の情報交換及び研修
12	阿久和・西柴・上永谷西 保育園発表会		各園の発表会見学
		県キャリアアップ研修 後期	Ｅラーニング
1	園長等研修会		秋田市保育協議会主催園長等の研修会
2	主任保育士部会		秋田市保育士会主催による主任保育士の情報交換及び研修
	保健部会		秋田市保育士会主催による看護師等保健担当者による情報交換研修
	給食部会		秋田市保育士会主催による栄養士等給食担当者による情報交換研修
	コミュニケーション研修② メンタルヘルス研修会②		法人研修（全職員対象） ごしょの保育園との合同研修
3	ごしょの・阿久和・阿久和 キッズ・西柴保育園・ 上永谷西卒園式		各園の卒園式見学 姉妹園への祝詞送付

（ア）秋田県で設定している前後期キャリアアップ研修と法人独自研修の計画的な履修を継続して推進する。また、様々な研修機会を活用して、積極的な自己研鑽に努めることを推奨する。

（イ）職員会議等で、「法人理念」、「保育理念」、「園目標」などを読み合わせするなど、周知徹底を図り、同一歩調を大切にする。

以上

令和 8 年 3 月 25 日

令和８年度
阿久和保育園 事業計画書

1. 事業内容
   ・保育事業
   ・一時預かり事業
   ・延長保育事業
   ・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針

令和８年度は、0 歳児の受け入れを 6 名に留めたが、新入園児 15 名を迎え全体的には定員を下回ることなくスタートすることができる。支援を必要とする園児が年々増加し、加配保育士の他にも在園数に関わらず保育士の配置が必要なため、職員の確保が困難であることも要因となり、要望がありながら 0 歳児を受け入れることができないもどかしさもある。保育士数が充足したときには 0 歳児を 9 名まで受け入れを行う。

地域の子育て支援が定着し、実施している日は大勢の親子が来園して賑わっており、阿久和保育園に入園したいと言ってくださる家庭も多く有難く思う。今後少子化がさらに加速していきそうな懸念がある中、地域支援は重要な事業となると感じているので、法人と相談しながら地域支援の事業化も視野に入れていきたい。

多様な家庭環境が背景にあり家庭支援が必要なご家庭も多く、保育園でできる限り相談を受けたり、助言したり励まし、保育の要望も受け入れているが、受け入れるだけの支援に留まらず、状況が好転するような支援をしていきたいと考える。そのためには　保育園の機能だけでは限界があると感じるので、行政や多方面の専門機関と連携して適切な支援をしていくことが有効だと思う。積極的に多方面の機関と関係作りをし、子育て家庭が地域に支えてもらえるよう支援の輪を広げていくことも保育園の使命だと考える。

令和 7 年度に行った業務改善プロジェクトによって、保育園の現状からの課題について意見を出しやすい機会をいただき、職員が共通意識を持って課題解決に向かおうとする姿勢が広がっているので、保育の質の向上もしっかりと果たしながら業務改善をし、皆にとって働きやすい職場になることを目指していく。保育者は子どもにとって重要な人的環境であるとともに、働きやすい職場であるために、思いやり、気遣い、優しい言葉使いを常とし、信頼関係を築いていくことも保育の質の向上に大きく関わっていると皆で意識していきたい。

保育はこれまでと変わらず、一人ひとり異なる感性や個性を持った子どもたちを一人の人間として尊び、心身ともに健やかに育つことのできる環境の中で、人から十分に愛され、ありのままの自分でいることを認められ、幸せに暮らすことができるよう努め丁寧に保育していく。

3　重点施策

（1）一人ひとりの子どもの人権を守る保育（通年）

子どもが現在を最もよく生き望ましい未来を作り出す力の基礎を培うことを願い、人との関わりの中で人に対する愛情と信頼感、そして人も自分も大切にする心を育てる保育をするために深い愛情を持って子どもと向き合い優しく温かい保育をする。

・「愛情深い言葉、肯定的な言葉、豊かな表現力」について職員が個々に研鑽を積み職員同士で伝え合う機会を設ける

・保育理念をもとに子どもの人権を重んじた心身の発達を願い、0 歳児から 5 歳児まで連動して、その時に育つべき心情や身体の育ちを踏まえた保育計画を立てる。

・保育園には多様な育ちをしている子どもがいることをよく理解し、発達や家庭の背景を踏まえ、どの子も大事な仲間の一人と認め合える子ども社会を育んでいく。

（2）保育をとことん語り合える職場風土作り（通年、職員会議、乳児会、幼児会に園内研修を含める）

より良い保育園にするために人的環境が最も重要であることを全職員で認識し、お互いを信頼し尊重し合うことを強く意識する職員集団にしていきたい。各会議の中に園内研修として皆で話合う機会を位置付け保育について語り合ったり、日常的にも、子どもの成長を喜び合ったり、悩みを打ち明けたり相談に乗ったりと、心を開いて話ができるような職場風土を構築する。その中で子どもにとって良いとする保育を基本に考え、子どもの成長や保護者支援のためにどうすればよいかという視点で、保育園の全園児を全職員で見ていく意識を持ち、誰に対しても思いやりのある発言や行動を心がけ、職員同士も相互成長できる職場にしたい。

（3）ICT 活用による業務削減と保護者の要望に応える意識の向上（通年、５月に園内研修）

コドモンの活用は順調に進み、保護者から不便さの訴えもない。令和 7 年度はドキュメンテーションを使い、各クラスその日のねらいに沿った活動を数枚の写真と共に配信している。保護者には好評で会話ができる年齢の園児は、家庭でも保育園の話題として保護者との会話につながっているようである。さらに写真や文章に工夫をして、端的でも内容の濃いドキュメンテーションになるよう質を高めていきたい。ドキュメンテーションを毎日の保育日誌とすることで業務の軽減にもなっているので、記録しておきたいことを整理してわかりやすい記録となるよう個々のスキルを高めていきたい。

（4）保護者の要望に応える（通年　職員会、カリキュラム会議に合せて研修）

令和 7 年度はクラス参観日を増やしたり、誕生会に参加していただいたり、行事の参加人数を増やすなどして、保護者に保育園に足を運んでいただく機会を増やした。アンケートや懇談会を通じて保護者の満足度が高くなっていることが伺えたので継続していく。子育てに悩みを抱え家庭、支援が必要な家庭も多いので寄り添う姿勢を忘れず、受け止めながら保育者としても専門性を持って対応する。そのために保護者支援のスキルを高められるよう園内研修や外部研修を行い、外部の専門機関と連携していく。

（5）地域子育て支援の充実（通年　月 10 回～12 回）

地域子育て支援として地域交流をしている。令和７年度は未就園の親子の来園数がとても多く、阿久和地域の親子の拠り所となっていることを実感した。令和８年度も現在行っている、赤ちゃんひろば、自園の栄養士による栄養相談、看護師による発育相談、親子体操、園庭や園舎解放、保育園行事への参加等地域交流を継続しつつ、「子育てひろば」として事業化することが可能かリサーチしたり、各所と相談して準備する年にしたい。また、保護者がどんな内容を求めているのかニーズ調査をしたりすでに実施している子育てひろばを視察させていただくなど視野を広くして地域の親子に寄り添っていきたい。

4　地域共生社会に向けた取り組み

（1）地域の親子交流（毎月 10 回～12 回ほど）

重点施策にもあげたが地域の親子交流は定着しているので、さらに充実させながら継続していく。

（2）収穫体験及び高齢者施設への訪問（収穫は 6 月、10 月）（高齢者施設訪問は未定）

収獲体験は、近年の気候変動による暑さのため熱中症予防の観点から縮小せざるを得ない状況だが、できる方法を検討し継続できることは継続していく。収穫体験でお世話になっている事業主様とのつながりを絶やすことなく、別の関わりとして、高齢者施設へ園児訪問を申し入れしているので、実施できるよう計画を進める。

（3）地域の多種事業所との交流（9 月、11 月、2 月）

・クロネコヤマト様協力のもと交通安全教室の実施
・横浜市資源循環局の協力のもとごみの収穫体験実施
・瀬谷消防署の協力のもとキッズ防災教室の実施

（4）地区の自治会との交流（花壇…春、秋）（灯篭…夏）

・向原公園（近隣）の花壇に花を植える
・長屋門の灯篭祭りに年長児が灯篭つくりに協力し、お祭りを盛り上げる

（5）障がい者雇用促進（就労支援事業所、特別支援学校を介して随時）

・就労支援事業所、特別支援学校を介して見学や実習を受け入れる
・職員は障がい者理解を深め、仕事に切り出し、良好な関係性の構築等を学んだり、すでに取り組んでいる施設に様子を聞く等して準備を進めて、お互いにとって良い状況を作り、受け入れを実現させたい。

（6）木育ひろばの開催（6 月 20 日開催、4 月 18 日は職員が受講）

公益財団法人オイスカ様にご協力、ご指導いただき、親子で間伐材を利用した木のおもちゃに触れて遊びながら、体感する力、創造性、遊びの中で自己と対話する力、非認知力、協動する力が育つことを体感していただく。園だけでは作れない遊びの空間で木のおもちゃの温もりを感じながら親子の楽しい時間を過ごす場、また職員にとっても木育について学びの場となる。

（7）「うたと音を楽しむコンサート」の開催、移動動物園の実施（7月、12月）

プロ活動をしていらっしゃる演奏家によるコンサートは3年目となり、保育園の様子を知っていただいている中での開催であり、つながりができてきている。移動動物園は令和8年度初めての取り組みだが、日頃触れ合うことのない動物が保育園に来てくれるのは喜びそうである。どちらも阿久和キッズ、地域の親子を交えて楽しむ。

5．施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

案件名	時期 （予定）	工事・設置金額 （千円単位）	理由
カーテン・ロールカーテンの取り換え	業者と打合せしできるだけ早く	420千円	現在設置しているブラインドが劣化により破損しているため

(2) 備品購入計画

備品名	時期 (予定)	単価 (千円単位)	数量	金額 (千円単位)	理由
木育玩具	5月	300千円	未定	300千円	木育保育を実施するために増やしていく
保育教材保育教（エプロンシアター、パネルシアター等）	5月	100千円	未定	100千円	行事、日常の保育で使うため
園庭遊具 三輪車10台 キッズスポーツカー6台	5月	203千円	備品名に記載	203千円	ほとんどの乗り物遊具が劣化により破損しているため
楽器及び付属品 木琴スタンド2台 グロッケン及びスタンド各2台 スネアドラム1台 シンバル1台 電子ピアノ2台	5月	165千円	備品名に記載	165千円	経年劣化により痛みが進んでいるため 2歳以上児各クラスにキーボードが必要なため

6．部門別保育年度達成目標

（1）乳児保育部門

0歳児：安全が保障され安心して過ごせるよう十分に配慮された環境で、一人ひとりが大切に受け止められ、愛情に満ちた応答的な関わりによって、特定の大人との信頼関係を基盤に世界を広げていく。

1歳児：愛されている、受け入れられているという安心できる環境の中で、身近な大人に自分の気持ちを表したり甘えたりすることが出来るようになる。
保育者を仲立ちとして生活やあそびの中で必要な言葉のやりとりを楽しんだり、自分の好きなことに夢中になったりして楽しむことができる。

2歳児：安心できる保育者との関係のもとで、個々の意欲や気持ちを受け入れてもらい、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
興味のあることや経験した事などを、生活やあそびの中で、保育士と共に好きなように表現したり、友だちとのやり取りも楽しめるようになる。

（2）幼児保育部門

3歳児：保育者や友だちと過ごしながら、他者の存在に気付き一緒に遊んだり、過ごすことの楽しさを知り、人との関わりが好きになる。
身体的な発達が促され十分に体を動かして遊ぶ心地良さを知る。また、好奇心や想像力を働かせて意欲的に自らの生活を自立していく。

4歳児：友だちや保育者、身近な人に自分の思いを言葉や行動で表現しながら、他者を受容する気持ちが育つ。
友だちと繋がってやり取りをしたり、同じイメージの中でごっこ遊びやルールのある遊びを楽しんだり、集団で活動することを楽しめるようになる。

5歳児：生活や遊びの中で達成感や充実感を味わう体験をし、目標に向かって友だちと力を合わせて活動する。また、関わりの中で起こる我慢する状況や様々な葛藤を乗り越え相手の立場に立って物事を考えたり判断したりできるようになる。
根気よく関わってくれる大人との関わりの中でやりたいことに自ら行動し、好奇心や探求心を育んでいく。

（3）給食部門

・アレルギー対応、ハラール食対応の実施（保護者、給食職員、担任、園長で確認）
・離乳食の進め方について保護者、担任と共に計画し、離乳食提供の実施
・年間食育計画に基づき、保育士と連携した取り組みの実施
・給食衛生管理マニュアルに基づいた安全安心な給食提供の実施
・調理員ミーティングの定期的な開催
・横浜姉妹園との調理員交流の実施

（4）地域交流、子育て支援部門

1)地域の親子にとって心地良い居場所として、地域に根付き多様な支援を提供する。

「瀬谷区子育て応援ネットに加入し、活動日、内容等を広報し、多くの方に阿久和保育園の地域子育て支援を知っていただき参加者を多くしていく。

地域の保育園やケアプラザと共同で「親子でぎゅっと！」を開催。

〈内容〉

・園舎開放

〇妊婦、0 歳児～1 歳 6 カ月…月 2 回（赤ちゃん教室）

栄養士による栄養相談や看護師による発達相談を計画的に行う。

瀬谷区の保健師と連携し、来園していただく機会を作る。

〇1 歳 6 カ月～就学前の幼児…月 2 回

遊びや交流の場の提供、及び育児相談等も随時行う。

・外部講師による親子体操…つき 1 回

・火曜日園庭開放…月 4 回

園庭で遊びを提供したり、保護者同士の交流を促す。また、保育園ならではの専門性を活かし、食育、生活、健康などの相談も随時行う。

・保育園の行事に合わせて地域の親子も参加して頂く。

園児のリトミック、夏祭り、収穫体験、消防署の協力によるキッズ防災教室、クロネコヤマト様の協力による交通安全教室、横浜資源循環局の協力によるごみの分別体験、ハロウィン、クリスマス会、節分など

2）多世代交流を積極的に行い、幅広い交流をしながら地域や、関わってくださる人、場所、行われている事などに深い関心が持てるよう働きかけていく。

〈内容〉

・高齢者施設訪問

・幼保小連携…主に原小学校と年長クラスの交流を計画し交流する

・中学校―職業体験受け入れお兄さんお姉さんとの触れ合いを楽しんだり、中学生にも、保育の仕事を体験しながら知ってもらう。

7. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 8 年 4 月 1 日の見込み数)　(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0 歳児	0	6	6
1 歳児	7	7	14
2 歳児	15	0	15
3 歳児	13	2	15
4 歳児	16	0	16
5 歳児	16	0	16
合計	67	15	82

(2) 職員数(令和 8 年 4 月 1 日の見込み数)　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	18	0	1	2	2	0	24
嘱託職員	0	1	0	0	1	0	0	2
パート職員	0	5	4	2	0	0	1	12
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	2	0	0	0	0	2
合計	1	24	6	3	3	2	1	40

8．行事計画

月	名称	内容
4	入園、進級式	入園、進級を祝う日
	全クラス懇談会	一年間の保育の見通しやクラスの様子を保護者に伝えたり、保護者同士の交流を図る
	4 月生まれの誕生会	4 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う
	お弁当遠足（3～5 歳児クラス）	保護者に作っていただいたお弁当を持って出かけて、春の自然の中で遊び、戸外でお弁当を食べて楽しむ
5	子どもの日集会	こいのぼりを飾り、端午の節句の由来を知り祝う。
	保育参観日（3～5 歳児クラス）	進級したクラスでの様子を保護者に参観していただき、お子さまの園生活の様子を見て安心していただく
	なかよしらんらんデー	瀬谷区の取り組みとして近隣の保育園の年長児が交流する（ほうゆう保育園にて）
	5 月生まれの誕生会	5 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う
6	保育参観日（0～2 歳児クラス）	進級したクラスでの様子を保護者に参観していただき、お子さまの園生活の様子を見て安心していただく
	園児内科検診	嘱託医による園児内科検診
	園児歯科検診	嘱託医による園児歯科検診
	防犯訓練	瀬谷警察署に協力していただき､不審者侵入を想定して避難訓練を行う
	6 月生まれの誕生会	6 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う
	木育ひろば	オイスカ様にご協力いただき阿久和キッズ､地域の親子を交えて、木育ひろばを楽しむ
7	七夕会	七夕飾りをし、七夕の由来を知る
	消防署合同避難訓練 （キッズ防災教室）	消防署の方に来園していただき､避難訓練について指導を受けたり、安全な避難方法を学ぶ
	七夕会 7 月生まれの誕生会	七夕飾りをし、七夕の由来を知る
	うたと音を楽しむコンサート	プロの演奏家をお招きし､普段あまり触れることが無い生の臨場感ある音楽に触れる
	7 月生まれの誕生会	7 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う
8	夏まつり	お祭りの雰囲気を味わう 阿久和キッズ、地域の親子にも参加していただく
	プールじまい	プールあそびが終わる日｡水に親しんで遊べたことを称える
	8 月生まれの誕生会	8 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う

9	緊急災害時引き渡し訓練	災害時の備え保護者とともに避難訓練をする
	9 月生まれの誕生会	9 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う
10	運動会（３～5 歳クラス）	自分なりの力を発揮し、またクラスの友だちを一つのことを成し遂げる達成感を感じながら、日頃の運動あそびを友だちや親子で楽しむ
	さつま芋堀り	土に触れさつま芋の収穫を喜ぶ（相澤農園にて）
	クロネコヤマト交通安全教室	クロネコヤマト様のご協力を得て、交通ルールを学んだり乗車体験を楽しむ
	10 月生まれの誕生会	10 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う
	ハロウィン	仮装をしてハロウィンを楽しむ
11	園児健康診断	嘱託医による園児内科検診
	園児歯科検診	嘱託医による園児歯科検診
	乳児クラス参観日 （0～２歳児クラス）	乳児クラスの保護者に参加していただき、親子あそびを楽しむ
	お弁当遠足（３～５歳児クラス）	保護者に作っていただいたお弁当を持って出かけ、 春の自然の中で遊び、戸外でお弁当を食べて楽しむ
	11 月生まれの誕生会	11 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う
12	移動動物園 （阿久和キッズ、地域の親子参加）	園庭に移動動物園をお呼びし動物との触れ合いを楽しむ
	発表会（3～5 歳児クラス）	日頃のあそびの中から、歌や劇ごっこなどの表現あそびを楽しむ
	クリスマス会（地域の親子参加）	サンタクロースの登場を喜び交流する
	12 月生まれの誕生会	12 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う
1	こども新年会	昔ながらの正月遊びを楽しむ
	資源物分別体験（3R 夢）	横浜市資源巡回局の方にゴミの分別を教えて頂く
	1 月生まれの誕生会	1 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う
2	節分（地域の親子参加）	節分の由来を知り、豆をまいて鬼を追い払う
	全クラス懇談会	クラス毎、保育園での 1 年のこどもの成長を伝えたり、保護者同士の交流をする 保育園生活をお話しながら進級について伝える
	2 月生まれの誕生会	2 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う
3	ひなまつり集会	ひなまつりの由来を知り桃の節句を祝う
	お別れ遠足	5 歳児と散歩に出かけ一緒に楽しむ
	卒園児お別れ遠足	5 歳児が思い出作りの遠足をする
	お別れ会	「さくら組さんありがとう」の気持ちを伝え楽しいひと時を過ごす
	卒園式	年長児の卒園を保護者と職員とで祝う
	3 月生まれの誕生会	3 月生まれの友だちの誕生をみんなで祝う
年間	避難訓練（地震・火災・近隣火災・散歩中の災害・不審者侵入・風水害）	地震・火災・近隣火災・散歩中の災害・不審者侵入・風水害について、毎月想定を変えて行う
	個別の保育参観日	家庭の希望に沿って随時行う
	個別懇談会	家庭の希望又は保育園からの呼びかけで随時行う

9．各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
園長、主任、副主任会議	月１回（随時）
職員会議	月１回
職員会議（パート職員）	月１回
カリキュラム会議	月１回
アレルギー会議	月１回
乳児会議、幼児会議	月１回
リーダー会議	年４回（4 月 7 月 10 月 1 月）
給食会議	月１回

10．研修計画

月	一般的な研修 （法人主催の研修会も含む）	キャリアアップ研修	内容
4	（法人主催）木育と保育		木育を行っていくにあたっての事前研修
	園内研修		保育の心得 保育理念
	園内研修		嘔吐処理研修
	園内研修		新入職員研修
5	（法人主催） コミュニケーション研修		導入編・発展編
	（法人主催） こどもたちの育ちを支えるにあたり保育者が大切にすべきこと		井桁容子先生による講演会 乳幼児期の保育をするにあたり最も大切にすべき関わりや、保育者の心もちについて学ぶ
	（法人主催） 子どももワクワク、保育者もワクワク保育を楽しむには		大豆生田啓友先生による往還型の研修会　全２回
	（法人主催） ティチングとコーチングを知る（対面）		植田講師による面談スキルを高める研修
	園内研修		保育の書類の書き方
6	（法人主催） ティチングとコーチングを知る（ZOOM）		植田講師による面談スキルを高める研修　ZOON で講師と個人研修
	インクルーシブ保育と保護者との連携の仕方		若月芳浩先生（横浜市旭区四季の森幼稚園園長先生）による対面研修 全４回
	（法人主催） 現場課題の発見と解決		植田講師による対面研修 全２回
	園内研修		救急蘇生法（AED）
		乳児保育分野研修	乳児保育の理解を深める
		幼児保育分野研修	幼児保育の理解を深める
7	５区合同接続期研修 （中村佳祐先生）		児童要録の基礎知識と作成の留意点 「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」を捉えた日々の記録の大切さ
	（法人主催） メンタルヘルス研修		中里講師による対面研修
		障害児保育分野研修	障害児保育の理解を深める
		マネジメント研修	リーダーシップ能力を身につける
8	子どももワクワク、保育者もワクワク保育を楽しむには		大豆生田啓友先生による往還型も研修会　全２回
	（法人主催）		植田講師による面談スキルを高める

	ティチングとコーチングを知る（対面）		研修
		保護者支援子育て支援研修	保護者支援子育て支援の理解を深め適切な支援方法を学ぶ
		保険衛生・安全対策研修	安全管理・保健計画の活用を学ぶ
		食育・アレルギー研修	食育やアレルギーの知識を深める
	園内研修		運動会のねらい
9	5区合同実践研修 （大友剛先生）		保育実践に活かせる歌や遊びを学び保育技術を高める
	（法人主催） 現場課題の発見と解決		植田講師による対面研修 全2回
10	瀬谷区　教育・保育施設長研修		内容未定
11	5区合同子どもの人権研修 （金子祐子先生） （谷本瑠奈先生）		不適切保育を防ぎ子どもの人権を尊重した豊かな保育実践を学ぶ
	（法人主催） ティチングとコーチングを知る（ZOOM）		植田講師による面談スキルを高める研修　ZOONで講師と個人研修
	園内研修		嘔吐処理研修
		マネジメント研修	リーダーシップ能力を身につける
		保険衛生・安全対策研修	安全管理・保健計画の活用を学ぶ
12	保育児童要録研修		保育児童要録研修の理解と記載内容について学ぶ
	園内研修		保健衛生、感染症について共有
1		保護者支援子育て支援研修	保護者支援子育て支援の理解を深め適切な支援方法を学ぶ
	園内研修		一年間の保育の振り返り来年度の行事の在り方検討 保護者アンケートを受けて
2	園内研修		保育の姿勢振り返り
3	園内研修		新年度の保育について
年間	3区合同インクルーシブ保育研修（開催日未定）		インクルーシブの視点ですべての子どもが共に成長できるクラス運営を考える
	臨床心理士研修 （開催日未定）		教育・保育の質の向上の一環として精神分析の視点から「対応に苦慮する保護者の心の仕組み」「子どもの心も発達」「組織としての対応」を学ぶ
	瀬谷区消防署による、救命・防災研修（開催日未定）		・AEDを使った救命処置、熱中症予防等の救急研修 ・消化器訓練を含む防災訓練 ・ASUKAモデルDVD視聴 ・消防訓練の進め方
	瀬谷区保育士実践研修として「年齢別研修」（開催日未定）		（内容未定）
	瀬谷区公開保育 （開催日未定）		（実施園未定）
	園内研修（乳児会、幼児会）		年齢ごとの保育について

※キャリアアップ研修は募集が発表される時期が開催元によって様々なので、
募集があり次第申し込みする。　以上

令和 8 年 3 月 25 日

令和８年度
西柴保育園 事業計画書

1. 事業内容
・保育事業　・一時預かり事業　・延長保育事業　・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針
少子化に直面しながらも地域に残り続ける園として国の動きなど社会情勢も視野に、地域にある社会福祉施設として柔軟にその役割を理解し学び、チームで対応していく。これまで行ってきている西柴保育園の活動を軸に、西柴保育園が出来る地域共生社会への貢献を母子支援、子育て支援、高齢者の方とのふれあい等の分野から模索し、実施していく事で地域で必要とされる社会福祉施設であり続けていけるよう努力していく。

1）出産後 1 年以内の母子に向けての心身のケアや育児のサポートなどを視野に入れ安心して子育てが出来る役割としての育児支援
2）地域の自宅にこもりがちな独り暮らしの歩行可能な高齢の方を、地域の民生委員さんと連携を取り、園にお迎えし、定期的に交流を行う
3）木育を仲立ちとした育児支援・地域支援

3. 重点施策
(1) ノンコンタクトタイム定着（目標達成期日：6 月末）
職員間で時間作りの工夫を行い時間を確保し、ノンコンタクトタイムを定着させ保育を語り合う事の楽しさ、明日のよりよい保育実践の為にチームで取り組んで行く仕組みづくり、繰り返し試み定着させる。

(2) 木育活動の充実(目標達成期日：6 月)
OISCA さんに協力していただき、年 1 回の親子木育ひろばの開催、職員による、幼児チームのこども達との木育ひろば開催、本体のこども達向けの自然物や木片を活用しての工作を中心とした取り組み、地域向け育児支援の中の木のおもちゃを中心とした木育活動と、日常的に、木や自然を身近に感じることができる保育実践を取り入れ西柴と木育活動を充実させていく。

(3) 幼児クラスのワクワクをうみだす環境設定 (目標達成期日：4 月より通年)
異年齢保育を展開している中で、幼児クラスの環境設定を、よりワクワク出来るものに！！をテーマに環境設定チームを中心として木育活動や造形活動について、ひとり一人がじっくりと取り組めるような環境設定を展開していく。

(4) ひとり一人の専門性の充実（目標達成期日：4 月より通年）

職員 1 人 1 人が、法人研修をはじめとし、専門職として楽しみながら学び続け、専門性を深める努力をしていく、個人としての理解をチームにも広げより良い保育実践の集団としての成長を目指していく。

4. 地域共生社会に向けた取り組み

(1)産褥期ケア(随時)

西柴保育園が出来る、産後直後、孤独に子育てをしている家庭の親が気軽に電話等で相談できるシステムづくりへの模索。孤独な子育て中の母子のおはなしを聞けたり、必要に応じて関係機関と連携が取れる取り組みを区や、町内会と考えていく。

(2)障がい者雇用(通年)

昨年度に引き続き採用に向け障がい者就労支援施設とも連携を取り、雇用に向けて、積極的に取り組み、採用に繋げる。

(3)地域向け木育ひろば （毎月開催)

地域にお住いの子育て保育所等を利用されてない未就学児をお持ちのご家庭にご案内し、園内の木のおもちゃで親子であそんでいただきながら、子育てについての質問やお話をうかがえる機会としている。（育児困難や、育児不安などの内容にも応じている）

(4)子育て広場 （毎月)

地域にお住いの未就学児の親子とともに、季節に合わせた工作（おひなさま、クリスマスオーナメントなど）を親子で楽しんで頂きながら、育児の不安や、相談事に答える

(5)ファミリデーコンサート （12 月 15 日頃)

地域で活動をされている、高齢のハーモニカ奏者のグループの方々の依頼をお受けしクリスマスのこの時期にこども達とのふれあいを兼ね、クリスマスソングをご一緒に歌ったり、演奏して頂く楽しい音楽のひとときを設けている。

(6)なかよしデイ （6 月 10 日（水））

地域にお住いの独り暮らしで、外に出る機会が少ない高齢の方の、外に出るきっかけとなることを願い、民生員さん、地域の NPO 法人さくら茶屋さんの協力を経て、5 名位の方に園に出かけて頂き、20 分から 30 分位の時間を、こどもたちと遊びを通じてふれあい交流して頂き、外に出るきっかけ作りとなるお手伝いができればと、企画している。

(7) 移動動物園 （10 月 21 日)

保育園の在園児はもとより、地域にお住いの育児講座に参加して下さる子育て家庭 5、6 組にもお声を掛ける、又地域の独り暮らしの高齢者の方々にも、民生委員さんにお力をおかりして声を掛け、外に出るきっかけの一つとして参加して頂けたらと考えている。

5．施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

案件名	時期 （予定）	工事・設置金額 （千円単位）	理由
園庭裏門扉の鍵取り付け工事	4 月	330 千円	園庭から園舎裏側に通じる門扉鍵取り付け工事

(2) 備品購入計画

備品名	時期 (予定)	単価 (千円単位)	数量	金額 (千円単位)	理由
避難用 カラー帽子	4 月	2,8 千円	75 個	210 千円	防災備品、カラー帽子と防災頭巾の機能を兼ねた製品
環境設定用乳児可動式棚	4 月	38 千円	3 台	114 千円	木育：こども達が片付けやすくまた活用しやすい可動式棚の購入。
環境設定用幼児可動式棚	4 月	31 千円	6 台	186 千円	木育：こども達が片付けやすくまた活用しやすい可動式棚の購入
幼児クラス L 字ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝの購入	4 月	220 千円	1 台	220 千円	木育：プライバシーを確保し、個別対応児の保育活動の保障のため

6．部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

ここ数年の継続目標として引き続き 0 歳児、1 歳児のアタッチメントを大切にした乳児期を安心して過ごせる保育環境づくりの継続。
乳児こころの安定を重視し、十分な心地良いかかわりをもち受容され甘える経験を重ねる保育を心がける。

0 歳児：落ち着いて安全な雰囲気の中で、一人一人の発達の保障、発育に応じて離乳の完了、安定した歩行、保育者との信頼、愛着関係、友だちとの関係の基礎、が安心できる環境の中で育っていく。

1 歳児：愛情あふれる落ち着いた穏やかな環境の中で保育者に見守られながら、人・物に興味関心を持ち安心して関わりを広げる。
安心して大人に甘えることができる。

2 歳児：保育者に思いを受けとめてもらい安心できる環境の中で、興味関心を広げ関わろうとする。
安心して友だちや保育者とのやり取りを通じて、自分の思いを表現してみる。

(2) 幼児保育部門

異年齢での活動や、クラスでの活動の中で保育者に見守られたり、共感してもらいながら日々の生活での、体験や仲間との関わりを通じて、心身ともに育つ。

造形活動や表現の活動、木育活動、からだを動かす活動等の日常の活動において1人1人がじっくりと取り組む楽しさを十分に味わい集団の中でもかかわりを楽しめる機会を十分に体験する。ひとり一人の成長する力を支えていく

3歳児：保育者やともだちと関わる中で、自分の気持ちを保育者に表現し、気持ちを受けとめてもらいながら、幼児クラスでの体験を通じ興味のあること・遊びを十分に楽しむ。
生活や遊びの中で簡単な約束やルールがある事に気づき少しずつ守ろうとする。

4歳児：身辺が自立し、友だちとの関わりを通して、自分の思いを言葉にし、目的を持って行動する経験を通して、心を豊かにしていく。
協調性が少しずつ育っていく、自意識が芽生え、人の気持ちを気にかけることが出来てくる。落ち着いて遊べる環境の中そだつ。
仲間の中で役割を果たそうと頑張る力が育ち、話しを聞けるようになる。
集団の中での約束や役割を意識し、協力して活動する経験を通して、自信や達成感を味わう。
生活の見通しを持ち、自分で考えて行動する力を育てる。

5歳児：仲間と経験する様々な活動を通して、仲間の意思も大切にしながら、考えや意見が異なっても折り合いをつける経験を通じて仲間と協力したり、工夫したり、考え、調べることの楽しさを実感する。
自分に自信をもち、仲間の違いを受け入れ、共に成長していく。

(3) 給食部門

0歳児：家庭との連携、保育士との情報共有のもと、睡眠のリズムを整え、食事を安全に取れるようにする。また、個々の発達に合わせた食形態の調整、調理の工夫を行う。

1歳児：食事を楽しみながら、自立への欲求が高まるように食事介助を行う。清潔の習慣を促す、手指の発達や、咀嚼嚥下の発達を見極めながら、食形態の調整・調理の工夫を行う。

2歳児：周りの人への関心が高まる中、好ましいマナーを身につけ、食事を楽しめるように関わる。食への興味を引き出しながら、主体的に食事が出来るように介助する

3歳以上児：食の経験がさらに豊かになるように、給食の食材、献立についての情報を提供し、興味関心を引き出す。マナーや安全な食べ方についても伝えて、周囲の人と気持ちよく食事を楽しむことを習慣化できるようにする。

・食育年間計画の共有
・なかよし給食の実施

・アレルギー対応についての情報共有
・保護者向け食育情報の提供（献立表・食育だより・給食写真掲示・ホームページ）
・地域への食育情報の発信
・郷土料理、行事食の提供

(4) 地域交流

【地域交流部門】

・町内会公園愛護会の方々との公園清掃、花壇の整備、やきいもの会、お正月あそびの会西柴夕涼みの会（町内会の夏祭り）
・地域の保育園との交流（年長児スポーツフェスティバル参加、5 歳児キラキラフェスティバル参加）
・西柴小学校を中心とした幼保小連携推進事業として交流行事に参加
・西柴小学校給食体験、学校体験（ランでセル体験、清掃体験、教室、図書室体験）
・金沢区行政主催のイベント金沢区海の公園で開催される「いきいきフェスタ」への参加

【子育て支援部門】

・木育ひろば
・育児講座年年間約 10 回
（園栄養士による食の相談・離乳食、手作りおもちゃの、リトミック等のワークショップを開催）
・地域の未就園児との交流の充実（誕生会他園の行事への参加のお誘い、園庭開放交流保育一緒にあそぼう）
・パパ先生講座（座談会形式のワークショップ）

【一時保育部門】

・受け入れ定員に空きがある場合の一時保育の受け入れ、在園児が施設内収容定員 72 名に達した時点で受け入れをストップする。
・誰でも登園制度への協力

7. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 8 年 4 月 1 日の見込み数)　(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0 歳児	1	2	3
1 歳児	5	8	１３
2 歳児	１１	2	１３
3 歳児	１３	0	１３
4 歳児	9	0	9
5 歳児	１４	1	１５
合計	５３	１３	６６

※3 月 9 日発表の 2 次選考で、更に追加入園者が発生する予定。

(2) 職員数(令和 8 年 4 月 1 日の見込み数)　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	１４	0	1	1	1	0	１８
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0
パート職員	0	3	1	0	2	0	1	7
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	１７	1	1	3	1	1	２５

8．行事計画

月	名称	内容
4	入園・進級を祝う会	入園・進級を共に喜び合う会
	誕生会	4 月生まれのこども達の誕生会
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座
5	こどもの日の会	こども達の成長を祝う会
	懇談会	職員と保護者による懇談会 1 回目
	誕生会	5 月生まれのこども達の誕生会
	春の健康診断	園医による定期健康診断 1 回目
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座
6	0 歳児 1 歳児 2 歳児ふれあい遊び	0，1，2 歳児の学年毎の親子行事
	親子でつみきひろば	OISCA さんによる木育活動
	個人面談	定期的な個人面談
	誕生会	６月生まれのこども達の誕生会
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座
7	七夕の会	七夕飾りをつくり七夕を楽しむ
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座
	誕生会	７月生まれのこども達の誕生会
8	おまつりごっこ	こども達が商品を売り手、買い手になるごっこ遊び
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座
	誕生会	８月生まれのこども達の誕生会
9	防災訓練	総合防災引き取り訓練
	誕生会	９月生まれのこども達の誕生会
	なかよし会	地域の独り暮らしの高齢者の方とのふれあいの会
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座
10	運動会	幼児クラスの運動会
	移動動物園	園庭にて、移動動物園のどうぶつたちに触れあう
	秋の健康診断	園医による定期健康診断２回目
	誕生会	10 月生まれのこども達の誕生会
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座
11	やきいも会	地域の方々と共に公園で焼き芋を焼き一緒に食す
	誕生会	11 月生まれのこども達の誕生会
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座
12	発表会	12 月生まれのこども達の誕生会

	クリスマス会	クリスマスを祝う
	ハッピーデーコンサート	地域のハーモニカ演奏者の方々が行う演奏会
	歯科検診	園医による歯科検診
	誕生会	12 月生まれのこども達の誕生会
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座
1	お正月あそびの会	地域の老人の方々をお招きしての凧揚げ羽根つきなどお正月あそびを楽しむ
	誕生会	１月生まれのこども達の誕生会
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座
2	節分のかい	豆まきをして福をよびます。
	懇談会	職員と保護者による懇談会 2 回目
	誕生会	２月生まれのこども達の誕生会
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座
	個人面談	定期的な個人面談
3	ひな祭りの会	ひなまつりをいわいます
	誕生会	３月生まれのこども達の誕生会
	個人面談	定期的な個人面談
	卒園式	年長児の卒園を祝う会
	子育て広場（育児支援）	地域の方向け育児支援講座
	木育ひろば（育児支援）	地域の方向け木育及び育児支援講座

避難訓練（地震想定・火災想定）・安全保育訓練は毎月 1 回開催

9. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月 1
乳児会議	月 1 、必要時随時
幼児会議	月 1 、必要時随時
カリ会議	月 1
ケース会議	月 1
クラス会議	月 1～必要に応じて
ノンコンタクトタイム	週 1 ～ 4

※月に一度は職員全員で「法人理念」、「保育理念」、「園目標」等の読み合わせを行う。

10. 研修計画

月	一般的な研修 （法人主催の研修会も含む）	キャリアアップ研修	内容
4	新入職者研修		横浜市私立園研修今年度入職者用研修
	幼保小連携に関する研修		横浜市主催
	よこはま・保育・教育宣言研修		横浜市
	園内研修・マニュアル		マニュアル、共有事項等の確認
5		幼児教育	キャリアアップ研修
		乳児教育	キャリアアップ研修
		障害児保育	キャリアアップ研修
	自己評価ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ		横浜市
	園内研修・（乳児保育）		
6		食育・アレルギー	キャリアアップ研修

		保健衛生・安全対策	キャリアアップ研修
	危機管理研修	保護者支援・子育て支援	キャリアアップ研修
7	木育ひろば		OISCA による木育実践研修
	大豆生田先生研修		法人保育実践研修
	ティーチング・コーチング		法人人財育成研修
	問題発見と解決研修		法人人財育成研修
	インクルージブ保育		法人保育実践研修
	危機管理研修		金沢区職員研修
	問題解決研修		法人人財育成研修
	園内研修・(水遊び安全保育		夏の過ごし方、みずあそび等の確認、共有
7		ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	キャリアアップ研修
	メンタルヘルス		法人研修
	井桁先生保育研修		法人保育実践研修
	園内研修・幼児保育		園内研修
8	ティーチングとコーチング研修		法人人財育成研修
9		食育・アレルギー	キャリアアップ研修
		ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	キャリアアップ研修
		保健衛生安全対策	キャリアアップ研修
		保護者支援・子育て支援	キャリアアップ研修
	メンタルヘルス研修		法人人財育成研修
	園内研修・保育実践		
10	園内研修(人権研修)		
	子どもと人権と保育		横浜市
	保育士等としての基礎		横浜市
11		幼児教育	キャリアアップ研修
		乳児教育	キャリアアップ研修
		障害児保育	キャリアアップ研修
	コミュニケーション		法人人財育成研修
	要録研修		児童要録についての研修
	ティーチングとコーチング研修		法人人財育成研修
	園内研修・研修報告共有		研修で得た知識を基に共有する
12	子育て支援研修		横浜市
	障害児保育講座		横浜市
	園内研修研・修報告共有		研修で得た知識を基に共有する
1	インクリュージョン保育を考える		横浜市
	看護師等研修		横浜市
	実習指導者研修		横浜市
	園内研修研・修報告共有		研修で得た知識を基に共有する
2	子育て支援研修		横浜市
	児童虐待安全対策		横浜市
	園内研修・アレルギー		アレルギー対応についてのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに基づいての確認
3	卒園式		年長クラスの卒園を祝います
	お別れ遠足		卒園児のみバスで遠足
	お別れ会		年長クラスと在園児のお別れ会
	園内研修・発達		

以上

令和８年３月 25 日

令和８年度
上永谷西保育園 事業計画書

1. 事業内容
・保育事業・一時預かり事業・延長保育事業・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針
昨年度、法人研修を実施していただいたことで、職員の中での保育に対する考え方や方向性を共通して持ち実践できていると感じる。次年度も引き続き学びから「知る」「理解する」「実践する」そして「習得する事の楽しさ」までもが実感できることを目指し、体制を整え参加する機会を増やしていく。
園児はもとより、連携園を含めた地域の子ども達の最善の利益について引き続き探求し、子どもも職員も居心地の良い環境作り、心地の良い関わりを目指していきたい。
少子化が進む社会において、園の存続の芽となる種を少しずつ増やしていくことを意識し、次年度実施される「木育ひろば」「移動動物園」等のイベントが保育園という場に気軽に訪問できる一歩となり、地域で子育てする保護者へのさらなるサポートや支援へと繋げていきたい。
日常の保育や行事について職員で話し合う機会を持ち、子どもが分け隔てなく生き生きと楽しく参加でき、保護者が子どもの成長過程に関わりながら共に楽しみ、成長を喜べるきっかけとなる内容を検討し保育に反映していく。
私達保育者は子どもの主体性を大切にした保育を行う上で、計画、実践、評価・改善を行う事を習慣とし、子ども達の心身の安定、意欲を育む応答的環境を考え、乳幼児期に大切な深い関わりを意識した保育の実践を行う。

3. 重点施策
(1) 地域共生社会に向けた取り組み（新年度より方向性の理解を計り通年実践）
昨年度に引き続き、養護学校からの実習の依頼は積極的に受け入れ、自立支援の第一歩となるよう共生社会に向けた取り組みを行う。社会福祉、地域共生について、職員も浸透するよう保育園の役割り、社会人としての心持ちなど更に理解を深めていきたい。

(2) 多様性を重視する保育、子どもとの関り（継続、研修等にも参加、通年実施）
保育者が子ども一人ひとりの違いを認め、子どもに向き合うために、保育者同士が互いの違いを認め合える園の風土づくりを意識していく。子どもの予測できない姿をもわくわくし楽しめるよう、多様性を尊重した「インクルーシブ保育」を基に、子ども一人ひとりに寄り添い、子どもと共に作り上げる保育を展開していく。

(3) 保育園の役割と今後の方向性（通年実施）

育児において不安や孤立感を抱える保護者が増加し、子どもの育ちへの課題や養育環境をめぐる状況が様々である。地域に密着する社会福祉法人・児童福祉施設である事を念頭に置き、全ての子どもの心身の健康な成長が保証されるよう隔てなく関わり、平等に愛情を受け安心して過ごせる場となるよう、子どもと子育て中の家庭を支えていくという基本的な方向性を持ち、園の運営に従事する。

(4) 風通しの良い職場環境の構築(通年実施)

上記の内容を踏まえ、職員の心身の安定や働く環境は何を差し置いても優先されることであり、業務の計画や取り組み全ての原動力となると言っても過言ではない。人的配置を整え、業務に支障なく取り組める環境や職員の意見の吸い上げ、園全体で問題を共有し、必要に応じて改善を図る。また、個々で抱えている問題や課題を上げやすい環境となるよう見直し、負担軽減を図る。

4. 地域共生社会に向けた取り組み

(1) 地域支援での日々の取り組み（５月以降開始）

（相談や園庭開放は毎日実施、交流保育などは年間数回実施）

園開放、育児支援、交流保育、子育て相談、離乳食試食会

子育て中の親子への育児相談や園児との交流などと通して育児支援を行う

(2) 木育ひろば（イベント年間１回６月）

木の積み木や玩具に触れ五感を刺激し、情緒の安定、感性を育む親子向けのイベント

(3) 移動動物園（年間１回１０月）

小動物やポニーとふれ合い、小さな生き物への労わる気持ちを育む

(4) 中学生の職業体験（年１回）、保育実習生の受け入れ（年数回）

学生の職場体験や保育学生の実習受け入れを行い、保育園で働く魅力を体験してもらい、保育学生が保育士として現場に立つことの理解を深められるよう関わる。

(5) 保育所６園との年長交流、小学校交流（月１回程度）

近隣保育園の年長児との交流や、小学校への学校訪問、時には園に招待して一緒に遊び、関わる事を通して就学への不安を軽減する。

(6) 特別支援学校高等部の生徒職業体験受け入れ（年間１回１１月）

支援学校高等部の学生の職業体験を受け入れ、環境整備などの軽作業に参加してもらい、社会人としてマナーを学び、労働を体験する。

5．施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

案件名	時期 （予定）	工事・設置金額 (千円単位)	理由
砂場補修工事	5 月	400 千円	砂場縁劣化に伴う交換
園庭レンガ安全対策	5 月	400 千円	園庭花壇のレンガなどの 危険箇所の補修工事

(2) 備品購入計画

備品名	時期 （予定）	単価 (千円単位)	数量	金額 (千円単位)	理由
木育玩具	5 月	200 千円	1 式	200 千円	木育イベント 育児支援の為

6．部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

0 歳児：個人差に応じた生理的欲求が満たされ、安定した生活の中で愛着関係を築き快適に生活できるようにする。一人ひとりの発達を理解し、個々に応じた保育を行う。 衛生的で安全な環境の中で、個々の生活リズムを大切に基本的生活習慣を身に付ける。

1 歳児：様々な経験や探索活動の中から言葉を獲得できるようにする。
安心できる保育者の下、自分でしようとする気持ちが育めるようにし、一人ひとりの成長を丁寧に見守り好奇心を満たす。生活リズムが安定し、食事・排泄・着替えなどの生活習慣が定着する。

2 歳児：安全に注意し、友達との関りを大切にすると共に、自分で出来る事を増やしていけるようにする。 自然に親しみ、様々な遊びや体験を通して、色々な物への好奇心や興味を持てるようにする。一人ひとりが主体として受け止められているという安心感を得られる環境の中で、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。

(2) 幼児保育部門

3 歳児：安定した生活の中で身の回りの事に興味関心を持ち、自分でやってみようとする。四季を通して、目的を持って散歩に出かけ自然に触れ、草花や小動物に関心を持ったり、言葉で伝え合ったりするなど自然を通して主体的に参加し、一人ひとりが安心感を持って過ごし、身近な大人に自分の気持ちを表すことができるようにする。

4 歳児：基本的な生活習慣が身につき、意欲的に活動に参加する中で、活動のイメージを膨らませ、見通しを持って取り組めるようにする。
相手の思いに気付き、また自分の思いを言葉で伝えながら関わりを深めていく。
様々な経験から、できた喜びを持てる環境、十分に体を動かす環境を作る。

5 歳児：友達と協力して目標に向かって取り組み、やり遂げる達成感や充実感を味わえるようにする。基本的生活習慣が身につき、見通しを持って活動に参加する。友達同士で感情の共有、社会性や協調性を学び、自分の良さに気付き自分に自信を持てるようにする。
就学に向けて、必要な生活習慣を身に付けられるようにする。

(3) 給食部門

離乳食の取り組みを丁寧に行い、個々に合った対応を保護者と連携して行う。
給食衛生管理マニュアルに基づいた対応を行う。
栄養士間の連携の下、給食提供時間の厳守、献立内容の工夫、アレルギー対応を行う。
食育活動を計画、実施し、経験することで子どもの感性を育む。

(4) その他の部門

【支援児（障害児）支援】
・個々に応じた対応を丁寧に行い、愛されている心地良さを感じ、友達との関りの中での成長を見逃すことなく保護者と共感し協力し合う関係性を築く。

【地域子育て支援】
・一時保育の受け入れの定着化を目指し、子育て支援を行う。
・地域の親子がゆっくり憩える、相談しやすい環境を作り、参加者の定着化を目指す。

【地域交流】
・幼保小交流をはじめ、年長児のスムーズな就学への架け橋となるよう、近隣の小学校と引き続き交流を行う。
・近隣の保育園との交流に積極的に参加し、良好な関係性を築く。

7. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和 8 年 4 月 1 日の見込み数)　　(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0 歳児	0	3	3
1 歳児	3	9	12
2 歳児	15	1	16
3 歳児	16	1	17
4 歳児	16	0	16
5 歳児	16	0	16
合計	66	14	80

(2) 職員数(令和８年４月１日の見込み数)　　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	15	0	3	0	1	1	21
嘱託職員	0	1	0	0	0	0	0	1
パート職員	0	6	2	1	0	0	0	9
障がい者人財	0	0	1	0	0	0	0	1
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	22	3	4	0	1	1	32

8．行事計画

月	名称	内容
4	入園・進級の日	クラスごとに集い入園・進級を祝う
	クラス別懇談会（１～５歳）	年間の保育のねらいや予定、子どもの姿等伝え、保護者の交流を図る
5	上西スポーツデイ（２～５歳）	親子で身体を動かして楽しむ
	ジャガイモ掘り・クッキング(幼児)	栽培したジャガイモの収穫・調理体験をして味わう
	園児内科健診	嘱託医による春の内科健診
	尿検査	３・４・５歳児対象に実施
6	木育ひろば	木の香りやぬくもりに触れ、保護者と共に木に親しむ
	プール・水遊び開き	注意事項を確認しプール・水遊びを楽しむ
	園児歯科検診	嘱託歯科医による春の歯科検診
	巡回訪問（港南療育センター）	保育の見学及び個別相談
	交通安全教室	横浜市による交通安全教室
7	七夕集会	七夕の由来を知り季節の行事を楽しむ
	交流保育「七夕」	地域の方を対象に七夕集会を楽しむ
	横浜市消防音楽隊演奏会	横浜市消防音楽隊による合奏を楽しむ
	すいか割り	すいか割りを体験する
	交流保育「すいか割り」	地域の方を対象にすいか割りを楽しむ
	資源循環局出前講座	ごみの分別やリサイクルについて知る
8	お神輿・盆踊り	年長児が作ったお神輿を担ぎ、盆踊りを楽しむ
	夏祭り	年長児が中心となり、夏祭りを楽しむ
9	防災訓練	保護者引き取り・安否確認訓練の実施
	プール・水遊びじまい	使用した玩具を洗い、プール・水遊びを終わる
10	園児内科健診	嘱託医による秋の内科健診
	交流保育「運動遊び」	地域の方を対象に乳児クラスと運動遊びを楽しむ
	サツマイモ掘り・クッキング(幼児)	栽培したサツマイモの収穫、調理体験をして味わう
	移動動物園	小動物やポニーなどへの餌やり体験などふれ合う
	ハロウィン	秋の収穫を祝い、ハロウィンを楽しむ
	幼児バス遠足	バスに乗って園外保育を楽しむ
11	園児歯科検診	嘱託歯科医による歯科検診
	合同防災訓練	消防署との合同訓練、煙体験ハウスや水消火器、消防服の試着等を体験
	生活発表会（３～５歳）	日頃行っている表現あそびを披露する
	交通安全教室	ヤマト運輸による交通安全教室
12	育児講座「リース作り」	地域の方を対象に保育士によるリース作りの講座

	クリスマス会	クリスマスを祝い、パーティーを楽しむ
	視聴覚検査	３歳児対象に横浜市の検査を実施
1	お正月遊び	新年をお祝い、お正月ならではの遊びを経験し楽しむ
	交流保育「お正月遊び」	地域の方を対象にお正月遊びを楽しむ
	保育参観・参加（０～２歳）	日頃の保育の様子を見てもらい、親子で楽しむ
	巡回訪問（港南療育センター）	保育の見学及び個別相談
2	節分集会	節分の由来を知り、伝統行事を楽しむ
	交流保育「節分」	地域の方を対象に節分集会を楽しむ
	クラス別懇談会（１～５歳）	子どもの姿や活動報告、保護者の交流を図る
	バス散歩（１～４歳）	バスに乗って園外保育を楽しむ
3	ひな祭り集会	季節の伝統行事を楽しむ
	お別れ遠足（５歳）	お弁当を持ってバスに乗り園外保育を楽しむ
	お別れ会	４歳児クラスが中心となり、年長児の卒園を祝う
	卒園式	年長児クラスの卒園を保護者と祝う
毎月	誕生会	各月の誕生児を祝う
	避難訓練	月１回の避難訓練

9．各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月１回
カリキュラム会議	月１回
乳児会議	必要に応じて
幼児会議	必要に応じて
クラス会議	必要に応じて
リーダー会議	月２回
アレルギー会議	月１回
アルバイト会議（会議報告含む）	月２回

10．研修計画

月	一般的な研修 （法人主催の研修会も含む）	キャリアアップ研修	内容
4	新人研修		・新入職員対象
	法人職員研修		・木育研修
	園内研修		・事故防止①(安全点検・戸外遊び) ・事故、ヒヤリハットの理解 ・アレルギー対応　　等
5	法人職員研修		・コミュニケーション研修(中里講師) ・子どもの育ちを支える保育者が大切にすべき事(井桁講師) ・子どもも保護者もワクワク～保育を楽しむために～(大豆生田講師) ・インクルーシブ保育と保護者との連携(若月講師)

			・ティーチングとコーチングを知る (植田講師)
	園内研修		・各種マニュアルについて ・応急処置、緊急時対応 ・夏の感染症　　等
6		キャリアアップ研修	・乳児保育分野 ・マネジメント研修
	園内研修		・第三者評価について
	障害児保育研修 法人職員研修		横浜市こども青少年局主催 ・ティーチングとコーチングを知る (植田講師)　※zoom ・問題発見と解決(植田講師)
	園内研修		・事故防止②(水遊び・虫刺され) ・救命救急/心肺蘇生　・保護者対応 ・第三者評価について　　等
7		キャリアアップ研修	・幼児保育分野 ・障害児保育分野
	アチーブメント		・自己啓発研修
	アレルギー対応 マニュアル研修		横浜市こども青少年局主催
	法人職員研修		・子どもの育ちを支える保育者が 大切にすべき事(井桁講師) ・インクルーシブ保育と 保護者との連携(若月講師) ・メンタルヘルス研修会(中里講師)
8	・幼児教育研修 ・マネジメント研修		横浜市こども青少年局主催
	港南区保育・教育施設職員 研修		・障害児保育研修
	園内研修		・第三者委員研修（過去の振り返り）
	法人職員研修		・子どもも保護者もワクワク ～保育を楽しむために～ (大豆生田講師) ・ティーチングとコーチングを 知る(植田講師)
9	・乳児保育研修 ・衛生管理研修 ・子育て支援研修		横浜市こども青少年局主催
	港南区公立保育園主任研修		・公開保育
	港南区保育・教育施設職員 研修		・給食施設栄養管理研修会 ・わらべうたあそび研修
	法人職員研修		・問題発見と解決(植田講師)
10		キャリアアップ研修	・保護者支援/子育て支援 ・食育/アレルギー対応分野
	・人権に配慮した保育研修 ・乳幼児保健研修 ・食物アレルギー研修		横浜市こども青少年局主催

	・組織マネジメント研修		
	港南区保育・教育施設職員研修		・実地研修（調理） ・人権研修 ・乳幼児健診見学体験研修
	療育セミナー		よこはま港南地域療育センター主催
	保育研修		横浜私立園長会主催
11		キャリアアップ研修	・乳児保育分野 ・障害児保育分野
	マネジメント研修		横浜私立園長会主催
	園内研修		・冬の感染症　　等
	法人職員研修		・コミュニケーション(中里講師) ・ティーチングとコーチングを知る(植田講師)　※zoom
12		キャリアアップ研修	・保護者支援/子育て支援分野 ・保健衛生/安全対策分野
	看護職等研修		横浜市こども青少年局主催
	港南区公立保育園主任研修		・公開保育
	園内研修		・事故防止③(冬の戸外遊び)　　等
1		キャリアアップ研修	・マネジメント研修
	園内研修		・保育の改善検討① (問題点・課題の発見と共有)
2		キャリアアップ研修	・幼児保育分野 ・保健衛生/安全対策 ・食育/アレルギー対応分野
	小児医療研修		横浜市こども青少年局主催
	療育オープンデイ		よこはま港南地域療育センター主催
	園内研修		・第三者評価の振り返り ・保育の改善検討②（解決策の検討）
3	園内研修		・保育の改善検討③ (関係マニュアル・改善点の共有)

以上

令和８年３月 25 日

令和８年度
阿久和キッズ 事業計画書

1. 事業内容
   ・小規模保育事業
   ・延長保育事業
   ・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況と基本方針
   ・令和７年度は、４月より１９名でスタートし、途中の変動なく過ごした。職員も退職などなく保育士９名、栄養士１名、調理員１名と統括リーダーを中心に「子どもの最善の利益」を保障するために協力して保育を行っている。キャリアアップ研修に力を入れ、ZOOM での受講を多く取り入れ、保育の質の向上に繋がるよう時間を作るようにした。昨年環境について係を決め、子ども達の動線や発達に合わせた保育室を試行錯誤しながら設定していったが、昨年の反省を基に今年度も引き続きより良い環境について話し合っていきたい。昨年の監査で指摘のあった朝の時間帯での保育士の不足については、確実に保育士人数が満たせれるよう努める。
   また、これからの少子高齢化の時代に地域で必要とされる園を目指して、小さなことから地域との関わりを積み重ねて、地域共生社会に対応できる園作りを進めていきたいと思っている。

3. 重点施策
   （１）子ども一人ひとりの人権を尊重し、丁寧な保育をする（通年）
   ・子ども達一人ひとりが、愛されている、受け入れられていると実感でき、自分は大切な存在だと確信を持ち自己肯定感を高められるよう丁寧に関わっていく。
   ・自尊心や自己抑制力、忍耐力といった社会情動的スキル、いわゆる非認知能力を育てるために、乳児期に温かく丁寧な保育をする、させるのではなく受容的で応答的な保育が必要となるので、常に念頭において保育を行っていく。
   （２）保育の質の向上と信頼関係の構築（通年）
   ・保育士主体ではなく、子ども主体の保育が実践できるよう研修、勉強を惜しまず、保育を語り合い意見交換をする中で、信頼関係を築きより良い保育が進められるよう努力する。
   ・クラス会議、事務時間、ノンコンタクトタイム等を確保し、職員が自ら自己研鑽にいそしめるようにする。
   ・職員がスキルアップややりがいを感じられる職場となるようにする。
   （３）法人理念を深読みする　（８月までに意見交換、すり合わせを実施）

・法人理念について「なぜこの理念を掲げているのか、どのような深い思いがあるのか」職員一人ひとりが考え、理解して理念に向かって同じ思いで保育にあたることができるようにしていく。

（4）第三者評価を受ける（9月までに勉強会を行い、共通理解を促す）

・第三者評価を受けるにあたり、統括リーダーを中心に各クラスや全体の保育や環境設定を見直し、振り返りや気づき、検討事項など全職員で話し合い、共有していく。

（5）地域共生社会に向けた取り組み

(1)　地域で必要とされる園を目指す

・子育て支援（年間を通して。育児講座は秋に開催する）

妊産婦(はじめの１００か月の育ちビジョンをふまえて)や小さな子供を持ち、一人ご家庭で行き詰ってしまわないようにサポート（孤立、虐待防止）同時に入園に繋げていく。

クラスに３～５組の親子を招き、手遊び、ふれあい遊び、リズム遊びなどを一緒に体験してもらう活動。

栄養士から簡単な離乳食の作り方や進め方など知らせる。

困った時に相談できる場所に慣れるよう、信頼関係を築いていく。

・木育ひろば（年間を通して）

姉妹園と協力しながら、在園の子ども達や地域の方々に直接「木」に触れる機会を提供し、木の優しさや温もりを感じられるようにする。そのような活動の延長で園を知ってもらうきっかけとなり、交流を深められるようにする。

5．施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

案件名	時期 (予定)	工事・設置金額 (千円単位)	理由
防犯、火災監視、設備監視、非常通報サービス一式	4月	340千円	防犯対策として

(2) 備品購入計画

備品名	時期 (予定)	単価 (千円単位)	数量	金額 (千円単位)	理由
木育玩具	5月	100千円	1式	100千円	木育推進のため 育児支援のため

6．部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

0 歳児 : 清潔で安全な環境の中で、保育者の愛情豊かな応答的な関わりを通して愛着関係を築いていく

・保育者に自分の欲求を満たしてもらいながら、安心して過ごす。

1 歳児 : 安心できる環境の中で、一人ひとりの発達や、個性を尊重してもらいながら信頼関係を築いていく

・保育者に見守られながら人や物に興味、関心を持ち関わりを広げていく

2 歳児 : 保育者に思いを受けとめてもらいながら、安心して興味、関心を広げ自ら行ってみようとする

・自分の思いや要求を言葉や態度で表せるようになり、要求を満たしてもらいながら楽しんで過ごす。

(2) 給食部門

・安全な給食提供の実施

・離乳食は丁寧に一人ひとりにあった対応をしながら、保護者と連携をして提供していく

・アレルギー対応を確実に行う。

・懇談会での試食の提供、保育参加での給食試食体験

・食育活動を２歳児クラス担任と相談し、食材、食事に興味を持てるよう計画していく

(3) その他

・姉妹園と行事の計画の段階から参加し、準備等積極的に行いコミュニケーションを図り交流を深める

・連携園の移動動物園等や園庭遊びに参加し、交流を深める

・「せやっこまつり」に参加し、準備、実際の開催を通して、他園との親睦を深める

7. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(令和　年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	年度継続児	年度新入児	合計
0 歳児	0	6	6
1 歳児	5	2	7
2 歳児	6	0	6
合計	11	8	19

(2) 職員数(令和８年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	6	0	0	0	0	0	7
嘱託職員	0	1	0	1	0	0	0	2
パート職員	0	1	0	0	1	0	0	2
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	8	0	1	1	0	0	11

8．行事計画

月	名称	内容
4	入園・進級を祝う	新入園児、進級児をお祝いする
	４月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月１回避難訓練
	懇談会	１年間の保育の見通しやクラスの様子を伝える。保護者同士の親睦を図る
5	こどもの日の会	子どもたちの健やかな成長をお祝いする
	５月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月１回避難訓練
6	内科検診	園医による検診
	歯科健診	園医による健診
	６月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月１回避難訓練
7	七夕の会	笹飾りを披露して、七夕について興味を持つ
	オペラコンサート	正式な演奏等に触れ、興味を持って楽しむ
	７月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月１回避難訓練
8	水あそび	水に親しみ、安全に遊ぶ
	８月誕生会	誕生日をお祝いする
	夏まつり	姉妹園との交流を楽しむ
	避難訓練	月１回避難訓練
9	９月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練・園児引き取り訓練	月１回避難訓練
10	保育参加週間	保護者に参加してもらい、日常の保育の様子を知っていただく。保育士は気づきを保育に活かせるようにする
	１０月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月１回避難訓練
	さつまいも掘り	２歳児　バスに乗って自然に親しみ、さつまいも掘りを体験する。
11	内科検診	園医による検診
	歯科健診	園医による健診
	１１月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月１回避難訓練
	親子であそぼう会	お家の方と一緒に体を動かして楽しむ
12	どうぶつ村	小動物に触れ、命を大切にすることを感じる

	クリスマス会	サンタクロースの登場を楽しみにし、クリスマスを楽しむ
	１２月誕生会	誕生日をお祝いする
	避難訓練	月１回避難訓練
1	１月誕生会	誕生日をお祝いする
	保育参加週間	保護者に参加してもらい、日常の保育の様子を知っていただく。保育士は気づきを保育に活かせるようにする
	避難訓練	月１回避難訓練
2	節分の会	節分について知り、自分の中の鬼を追い払い、福を呼べるように参加する
	クラス懇談会	１年間のクラスの様子や成長を伝える。保護者同士の親睦を図る
	２月誕生会	誕生日をお祝いする
	入園説明会	新入園児の面接、園について知らせる
	避難訓練	月１回避難訓練
3	ひなまつりの会	ひなまつりについて知り、桃の節句をお祝いする
	お別れ遠足・お弁当遠足	友だちや保育士と一緒にお弁当を食べたり、楽しい時間を過ごす
	卒園式	２歳児の卒園をお祝いする
	３月誕生会	誕生日をお祝いする
	お別れ会	異年齢で楽しい時間を過ごす
	避難訓練	月１回避難訓練

9. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月１回
カリキュラム会議	月１回
給食会議	月１回
クラス会議	月１回
ミーティング	毎日　13:00～

※月に一度は職員全員で「法人理念」、「保育理念」、「園目標」等の読み合わせを行う。

10. 研修計画

月	一般的な研修 （法人主催の研修会も含む）	キャリアアップ研修	内容
4	園内研修		法人理念・保育理念・園目標
			全体的な計画、アレルギー対応について
			保育理念を理解する
	木育事前勉強会		
5	園内研修		AED 救急対応について
	井桁講師		こどもたちの育ちを支えるにあたり保育者が大切にすべき事
	大豆生田講師		子どももワクワク、保護者もワクワク保育を楽しむためには
	植田講師		ティーチングとコーチングを知る

6	若月講師		インクルーシブ保育と保護者との連携の仕方
	植田講師		ティーチングとコーチングを知る zoom
	植田講師		問題発見と解決研修
	救命・防災研修		AED を使って
7	井桁講師		こどもたちの育ちを支えるにあたり保育者が大切にすべき事
	中里講師		メンタルヘルス
		キャリアアップ研修	乳児、食育、保護者対応等
	園内研修		保育理念の深読み
8	大豆生田講師		子どももワクワク、保護者もワクワク保育を楽しむためには
	植田講師		ティーチングとコーチングを知る
	園内研修		保育所保育指針読み合わせ
9	園内研修		第三者評価について
	5 区合同実践研修		保育実践に活かせる歌や遊びを学び保育技術を高める
10		キャリアアップ研修	乳児、食育、保護者対応等
	園内研修		第三者評価について
	公開保育		様々な点から保育を語り合い、学びを深める
11	植田講師		ティーチングとコーチングを知る zoom
	園内研修		嘔吐処理研修
	5 区合同子どもの人権研修		子どもの人権を尊重した保育実践のために
12	園内研修		第三者評価について
1	園内研修		不適切な保育、安全について
	食育研修会		安全な給食の提供について
2	園内研修		施設の自己評価について
3	園内研修		次年度に向けて改善検討

以上